

第 2 部 資料編

令和4年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業における 「介護ロボット地域フォーラムの協力機関」

募集要項

募集期限 令和4年5月9日(月)～6月10日(金)

厚生労働省が実施する「介護ロボットの開発・普及・実証のプラットフォーム事業」の相談窓口（地域拠点）が無い都府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関を募集します。

本事業は、当協会が厚生労働省から受託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」の一環として行うものであり、予定の件数や予算に到達した時点で募集を終了しますので、予めご了承ください。

なお、募集期間中に予定の件数に達しない場合は、継続して募集します。詳しくは、当協会までお尋ねください。

公益財団法人テクノエイド協会

目次

1. 目的	1
2. 対象となる機関	1
3. 対象とする介護ロボットの範囲	1
4. 実施内容	2
5. 交付額及び実施件数	3
6. 協力機関の選定等について	3
7. 実施期間	3
8. 実施結果報告の提出	4
9. 関係書類	4
10. 本件に関するお問い合わせ及び実施要望書の提出先	4
11. 様式	5
様式1 「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」	5
様式2 「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」	6
様式3 「介護ロボット地域フォーラム 請求書」	7
様式4 「介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書」	8
様式5 「介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書」	10

**令和4年度
福祉用具・介護ロボット実用化支援事業における
「介護ロボット地域フォーラムの協力機関」
募集要項**

1. 目的

日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、生産年齢人口が減少し、介護ニーズが増大していく中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上を図り、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入は不可欠となっています。

こうした中、厚生労働省では「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業（以下、「介護ロボットのプラットフォーム事業」）を実施しているところですが、本事業では、介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関（以下「協力機関」）を募集します。

地域において、介護ロボットの普及啓発を行い、もって介護ロボットの適切かつ効果的な導入・利活用に資することを目的とします。

（参考）

介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業 ホームページ

<https://www.kaigo-pf.com/>

2. 対象となる機関

- （１）都府県又は市町村（特別区、一部事務組合及び広域連合を含む。）
- （２）福祉用具・介護ロボットの普及啓発を行っている機関
- （３）過去に介護ロボットに係るフォーラム等を行った実績がある機関
- （４）その他、本事業の実施が可能であると認められた法人

上記（１）～（４）のいずれかに該当することとする。ただし、（１）の市町村が行う場合、当該市だけではなく所在県の全域をカバーすることとします。

※個人の申請は認めない。

介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都府県

・宮城県	・秋田県	・山形県	・福島県	・茨城県	・群馬県	・千葉県
・東京都	・石川県	・福井県	・山梨県	・長野県	・岐阜県	・静岡県
・三重県	・滋賀県	・京都府	・奈良県	・和歌山県	・鳥取県	・島根県
・岡山県	・山口県	・香川県	・高知県	・佐賀県	・長崎県	・熊本県
・宮崎県	・沖縄県					

3. 対象とする介護ロボットの範囲

「ロボット技術の介護利用における重点分野」（平成29年10月改訂）における6分野13項目に概要する機器及び、介護施設・事業所のサービスの質の向上・効率的なサービス提供に資する機器・システムを対象範囲とします。

ロボット介護機器の開発重点分野（平成29年10月）



4. 実施内容

以下のとおりとします。地域の実情やニーズに応じて計画してください。

(1) 必須項目

介護ロボット地域フォーラムの開催

①介護ロボットの体験展示

10種類程度の展示を行うこと。

②介護ロボットの試用貸出の受付

年間通じて当該地域の要望を受付、全国17か所(予定)の相談窓口連絡すること。

③介護ロボットに関するシンポジウムの開催

介護ロボットの普及に係るシンポジウムを開催すること。

シンポジウムでは、厚生労働省が行う介護ロボットのプラットフォーム事業の紹介や開催地の自治体実施する介護ロボットの導入支援に関する紹介を行うとともに、介護ロボットに係る最新動向等について情報提供を行うこととする。

(2) 任意項目

地域フォーラム開催時のイベントとして、福祉用具・介護ロボットの導入、利活用に関する地域の実情やニーズに応じた企画を立案していただいて差し支えありません。

例えば、

- ・介護ロボット導入支援事業による好事例の紹介

- ・上手に導入・利活用するためのノウハウ、ワークショップの開催
- ・安全体制を確保するための取り組み紹介
- ・ICTやロボット技術を活用した生産性向上に関する取り組み紹介
- ・ロボット技術等を活用した新型コロナ対策や新しい面会システムの取り組み紹介

(3) アンケート調査の実施

アンケート調査を実施し、地域フォーラムの結果を取りまとめてください。

【調査項目】

- ・来場者の属性（介護従事者・開発企業等の別、職種等）
- ・シンポジウムに対する意見
- ・体験展示・試用貸出に対する意見
- ・介護ロボットの利用意向
（自身が介護者として介護ロボットを使用する意向があるか、被介護者となった場合に介護ロボットを使用した介護を受けたいか等）
- ・相談窓口やリビングラボの利用の意向や意見

(新型コロナウイルス感染症の対応)

地域フォーラムの開催は、原則、会場開催を予定することとし、感染症予防等の徹底をお願いいたします。

但し、政府により「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」が発出された場合、あるいは開催地の自治体の要請により会場での開催が困難な場合は、オンライン開催への変更も認めることといたします。こうした場合は、事前に当協会までご相談ください。

5. 交付額及び実施件数

○ 1か所あたり、120万円程度（税込み）

※補助対象となる費目については、別表の対象経費を参照してください。

※謝金及び旅費、会場借料は別途精算払いとなります。

○ 6か所

6. 協力機関の選定等について

本事業を希望される機関は、「**実施要望書(様式1)**」及び「**経費明細書(様式2)**」を令和4年5月9日（月）～令和4年6月10日（金）の間に、電子メールにて当協会あてに（monitor@techno-aids.or.jp）提出してください。

応募されたものから、順次、当協会から厚生労働省に再委託の協議を行い、協力機関を決定して参ります。

なお、協力機関の選定にあたっては、全国的な地域のバランスを踏まえるとともに、要望書の内容を加味して決定いたします。

募集期間中に予定の件数に達しない場合は、継続して募集します。選定状況は、当協会までお尋ねください。

7. 実施期間

内定後～令和5年2月末

8. 実施結果報告の提出

本事業を実施した機関は、事業終了後速やかに「**実施結果報告書(様式4)**」及び「**支出経費明細書(様式5)**」、アンケート調査の結果を電子メールにて、当協会あてに提出してください。(送信先:monitor@techno-aids.or.jp)

9. 関係書類

- 様式1「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」
- 様式2「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」
- 様式3「介護ロボット地域フォーラム 請求書」
- 様式4「介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書」
- 様式5「介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書」

10. 本件に関するお問い合わせ及び実施要望書の提出先

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 (谷田・松本・根石 (ねいし))

〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階

TEL 03(3266)6883

電子メール monitor@techno-aids.or.jp

11. 様式

様式 1 「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」

令和 年 月 日

介護ロボット地域フォーラム 実施要望書

1. 協力機関

事業名	〇〇〇介護ロボット地域フォーラム
機関名称	
住所	〒
連絡担当者 所属 氏名	
電話	
電子メールアドレス	

2. 実施する都府県

3. 実施体制

4. 実施内容（実施予定日・実施会場・展示予定機器 等）

5. 実施スケジュール

※記載には文字数の制限はありません。必要に応じて頁を増やしてください。

様式2「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」

介護ロボット地域フォーラム 経費明細書

(1) 経費明細 ※1か所あたり、120万円程度(税込み)

	項目	支出予定額	積算内訳
直接 経費	賃金・人件費		
	消耗品費		
	雑役務費		
	会議費		
	通信運搬費		
	印刷製本費		
	保険料		
	光熱水費		
	委託費		
	一般管理費		
	合計		

(2) 謝金、旅費、借料及び損料 ※別途、精算払いとなります。

	項目	支出予定額	積算内訳
直接 経費	謝金		
	旅費		
	借料及び損料		

※ 記載にあたっては、文字数の制限はございませんので、適宜、記載枠を広げて、具体的に、ご記入ください。

請求書

金 _____ 円

令和4年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として行った「介護ロボット地域フォーラム」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金融機関名	銀行	支店
預貯金種別		
口座番号		
(フリガナ) 口座名		

2. 協力機関及び案件

協力機関名	
担当者名	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)
住所 〒

事業者名

代表者

印

介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書

1. 協力機関

事業名	〇〇〇介護ロボット地域フォーラム
機関名称	
住所	〒
連絡担当者 所属 氏名	
電話	
電子メールアドレス	

2. 実施した都府県

3. 実施体制

4. 実施方法

5. 実施結果

○実施日時、場所

○来場者数

○体験展示の内容（展示機器名・台数等）

○試用貸出の取次ぎ件数

○シンポジウムの内容（講演者・講演概要等）

○その他、地域フォーラムにおいて実施した、介護ロボットの開発・導入・普及・活用等に資する取組

(アンケート調査の結果や本事業で作成したパンフレットなど入れてください。)

※記載には文字数の制限はありません。必要に応じて頁を増やしてください。

介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書

(1) 経費明細 ※1か所あたり、120万円程度(税込み)

	項目	支出額	積算内訳
直接 経 費	賃金・人件費		
	消耗品費		
	雑役務費		
	会議費		
	通信運搬費		
	印刷製本費		
	保険料		
	光熱水費		
	委託費		
一般管理費			
合 計			

(2) 謝金、旅費、借料及び損料 ※別途、精算払いとなります。

	項目	支出額	積算内訳
直接 経 費	謝金		
	旅費		
	借料及び損料		

※ 記載にあたっては、文字数の制限はございませんので、適宜、記載枠を広げて、具体的に、ご記入ください。

対象経費

(申請できる開発経費)

本事業の実施に必要な賃金、謝金、旅費交通費、消耗品費、雑役務費、借料及び損料、会議費、通信運搬費、印刷製本費、光熱水費の直接経費等並びに一般管理費

各項目の具体的な支出例は、以下のとおりです。経費の算出に当たっては、所属機関の規定等に基づくこと。

なお、謝金及び旅費交通費、借料及び損料につきましては、精算払いとなります。

	項目	具体的な支出例
直接 経 費	賃金・人件費	・ 事業実施に必要な作業等を行う者の人件費 ・ 事業実施に必要な臨時に雇用する者の費用
	謝金	・ 事業の協力機関に属さないシンポジウムの講師等に対する謝礼 下記の参考単価基準額を参照
	旅費交通費	・ 事業実施に必要な旅費交通費（シンポジウムの講師等）
	消耗品費	・ 各種事務用紙、文具の類、収入印紙、雑誌等、その性質が使用することによって消耗され又は毀損しやすいもの、長期間の保存に適さない物品の購入費
	雑役務費	・ 振込手数料、両替手数料 ・ 会議録等の作成費 ・ 介護ロボットの貸与費及び、設置セットアップ費用 ・ アンケート結果の入力費 等
	借料及び損料	・ 会場借上料
	会議費	・ 会議時の費用等
	通信運搬費	・ 郵便料、運搬料、電話料等
	印刷製本費	・ パンフレットや報告書等の印刷費
	保険料	・ 試用等に係る保険料等
	光熱水費	・ 電気使用料、ガス使用料、水道使用料等及びこれらの使用に伴う計器類の使用料等 ・ 自動車等の燃料費
	委託費	・ 業務の一部を外部機関に委託するための費用
一般管理費	直接経費の15%以内とします	

参考単価基準額

(賃金)

一日（8時間）当たり8,300円を基準とし、雇用者が負担する保険料は別に支出する。

注）一日において8時間に満たない時間又は8時間を超えた時間で賃金を支出する場合には、1時間当たり1,030円で計算するものとする。

(謝金)

定型的な用務を 依頼する場合	医師又は相当者	日給 14,100円
	大学（短大含む）卒業者又は専門技術を有する者及び担当者	日給 7,800円
	その他	日給 6,600円

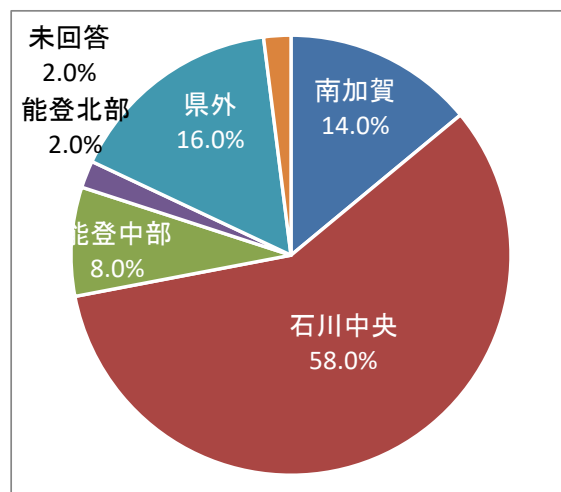
2. 介護ロボット地域フォーラム アンケート結果

① 石川県

<来場者アンケート集計結果>

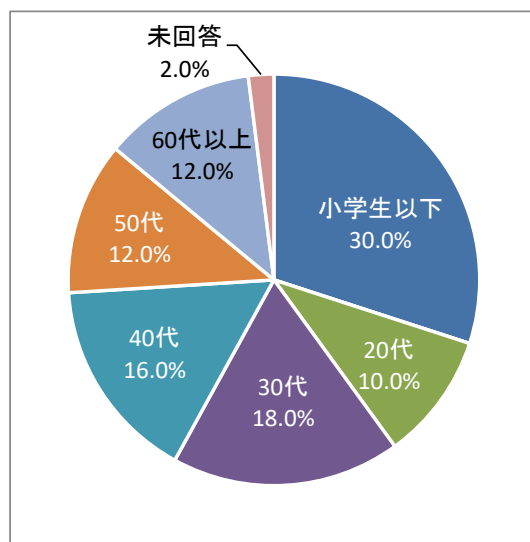
■来場地域

南加賀	7人	14.0%
石川中央	29人	58.0%
能登中部	4人	8.0%
能登北部	1人	2.0%
県外	8人	16.0%
未回答	1人	2.0%



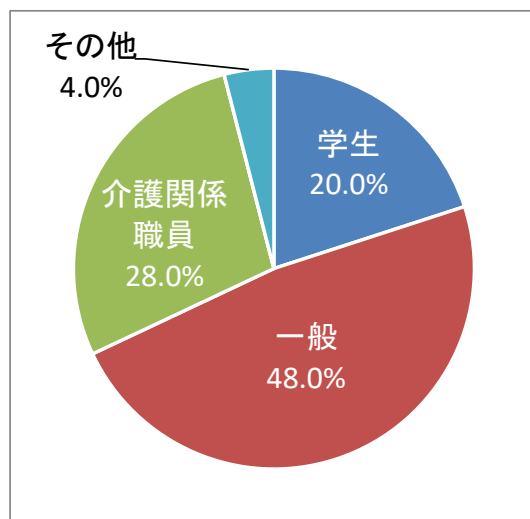
■来場者年齢

小学生以下	15人	30.0%
中学生以上	人	0.0%
20代	5人	10.0%
30代	9人	18.0%
40代	8人	16.0%
50代	6人	12.0%
60代以上	6人	12.0%
未回答	1人	2.0%



■来場者の職業

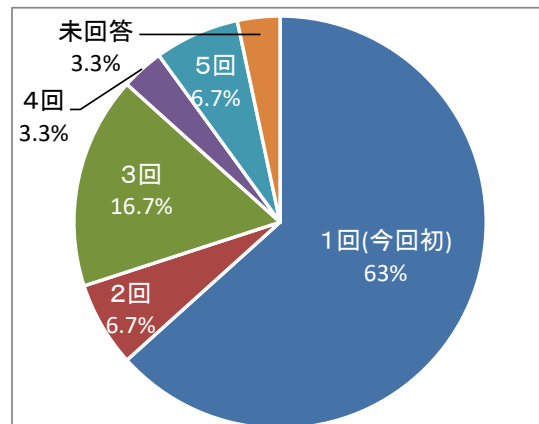
学生	10人	20.0%
一般	24人	48.0%
介護関係職員	14人	28.0%
ブース出展者・ ステージ出演者	人	0.0%
その他	2人	4.0%



※ その他・・・ST 等

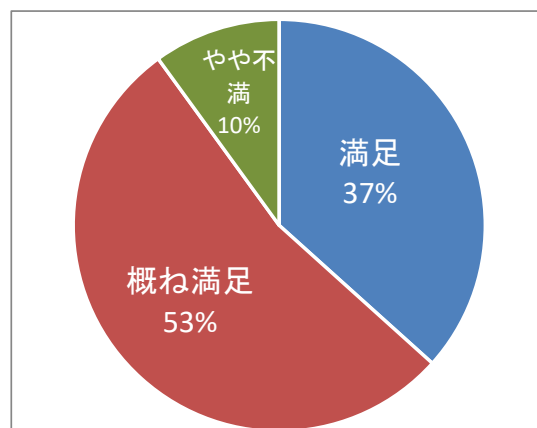
■フェスタへの来場回数

1回(今回初)	19人	63.3%
2回	2人	6.7%
3回	5人	16.7%
4回	1人	3.3%
5回	2人	6.7%
未回答	1人	3.3%



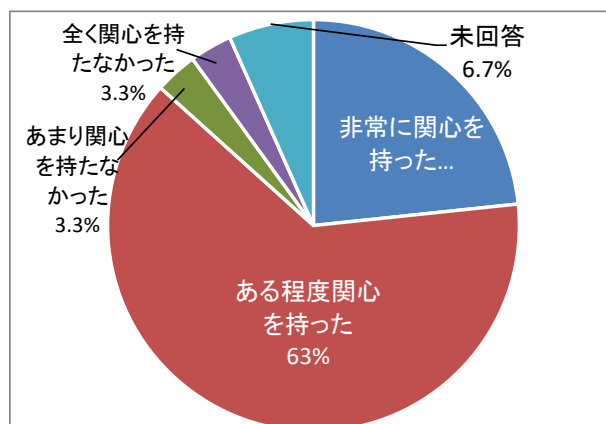
■フェスタ全般についての満足度

満足	11人	36.7%
概ね満足	16人	53.3%
やや不満	3人	10.0%
不満	人	0.0%



■介護の仕事に対して、どの程度関心を持ったか

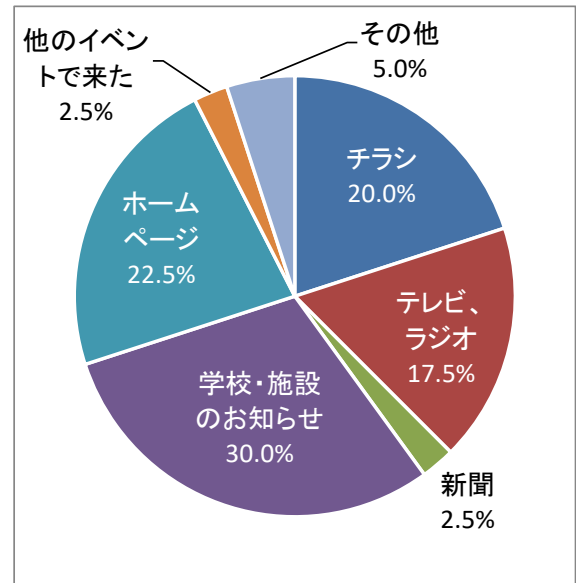
非常に関心を持った	7人	23.3%
ある程度関心を持った	19人	63.3%
あまり関心を持たなかった	1人	3.3%
全く関心を持たなかった	1人	3.3%
未回答	2人	6.7%



■フェスタの開催を知ったきっかけ（複数回答可）

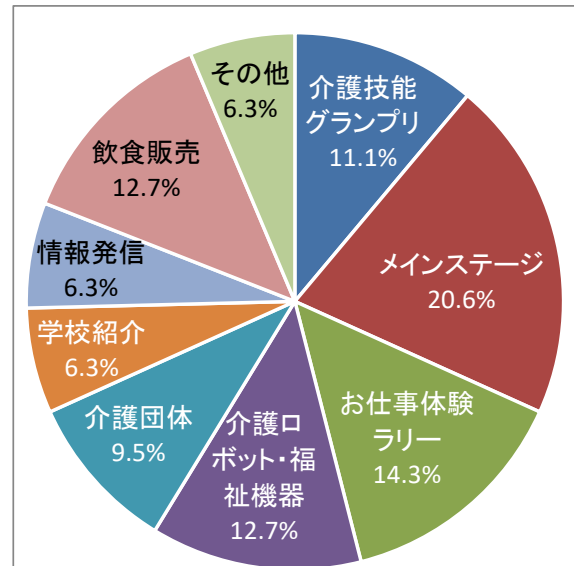
チラシ	8人	20.0%
テレビ、ラジオ	7人	17.5%
新聞	1人	2.5%
学校・施設のお知らせ	12人	30.0%
ホームページ	9人	22.5%
他のイベントで来た	1人	2.5%
その他	2人	5.0%

※ その他・・・知人の紹介 等



■どのコーナーが楽しかったか（複数回答可）

介護技能グランプリ	7人	11.1%
メインステージ	13人	20.6%
お仕事体験ラリー	9人	14.3%
介護ロボット・福祉機器	8人	12.7%
介護団体	6人	9.5%
学校紹介	4人	6.3%
情報発信	4人	6.3%
飲食販売	8人	12.7%
その他	4人	6.3%



令和4年度 長野県介護ロボットフォーラム(厚労省事業)

アンケート結果報告書

令和5年1月

公益社団法人かながわ福祉サービス振興会

調査概要

【調査対象】 令和4年度長野県介護ロボットフォーラム受講者(50名)

※事前申込者数70名

※展示会のみ見学者を対象外

【回答数】

32件

【調査日】

令和4年11月25日(金)

【調査方法】

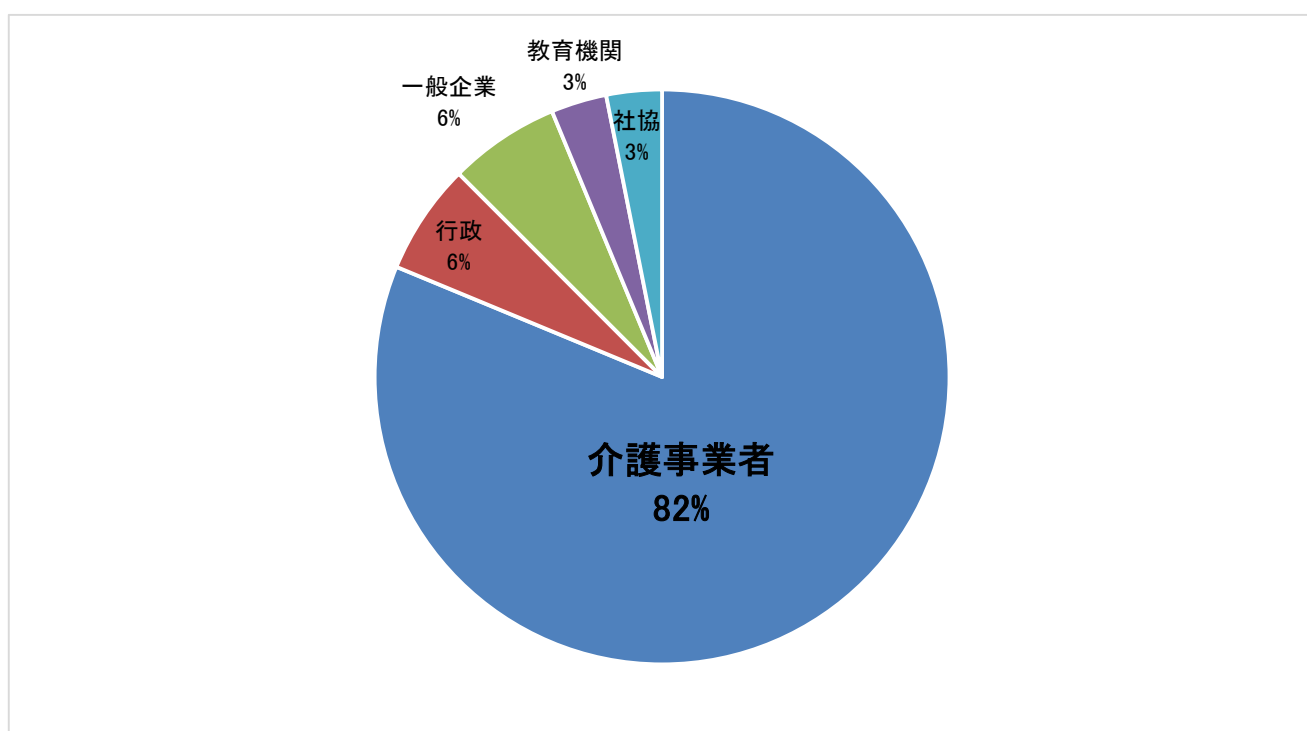
フォーラム受講者へ紙面にて配布

【調査内容】

受講者の属性及び、フォーラム、展示会、プラットフォーム等への意見収集

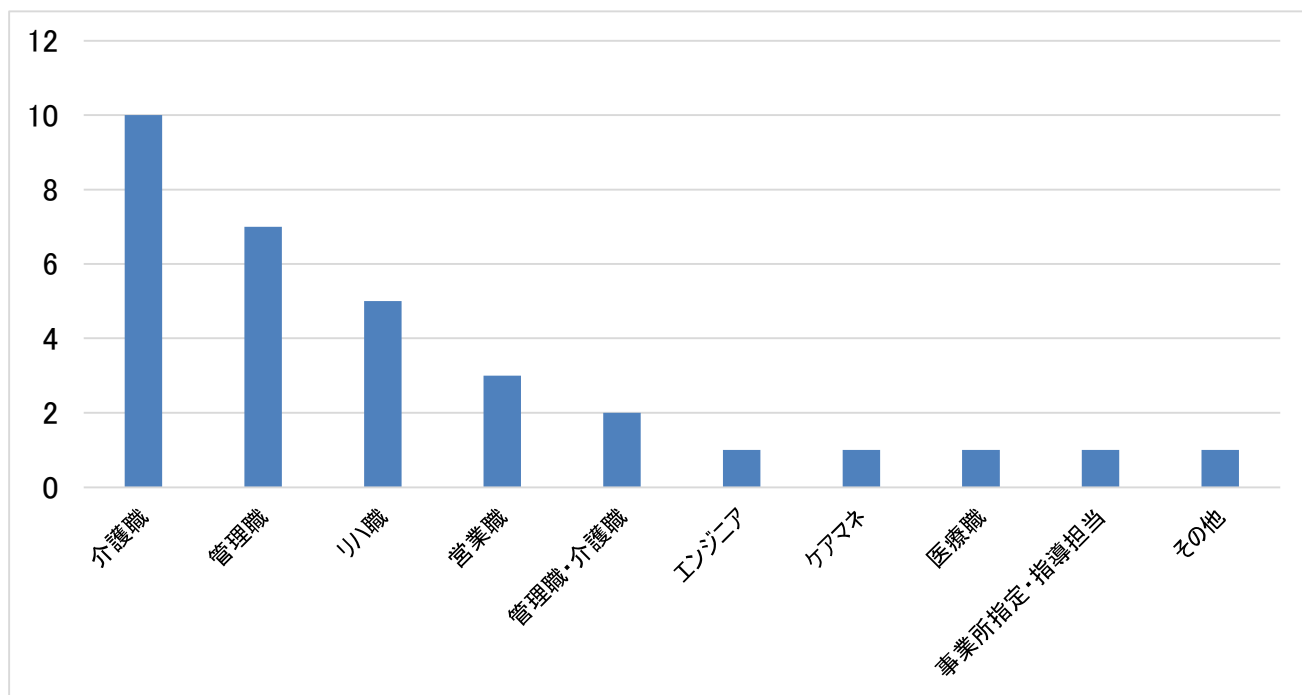
(1)あなたのお勤め先を教えてください。

勤め先	人数	割合
介護事業者	26	81.3%
行政	2	6.3%
一般企業	2	6.3%
教育機関	1	3.1%
社協	1	3.1%
合計	32	100.0%



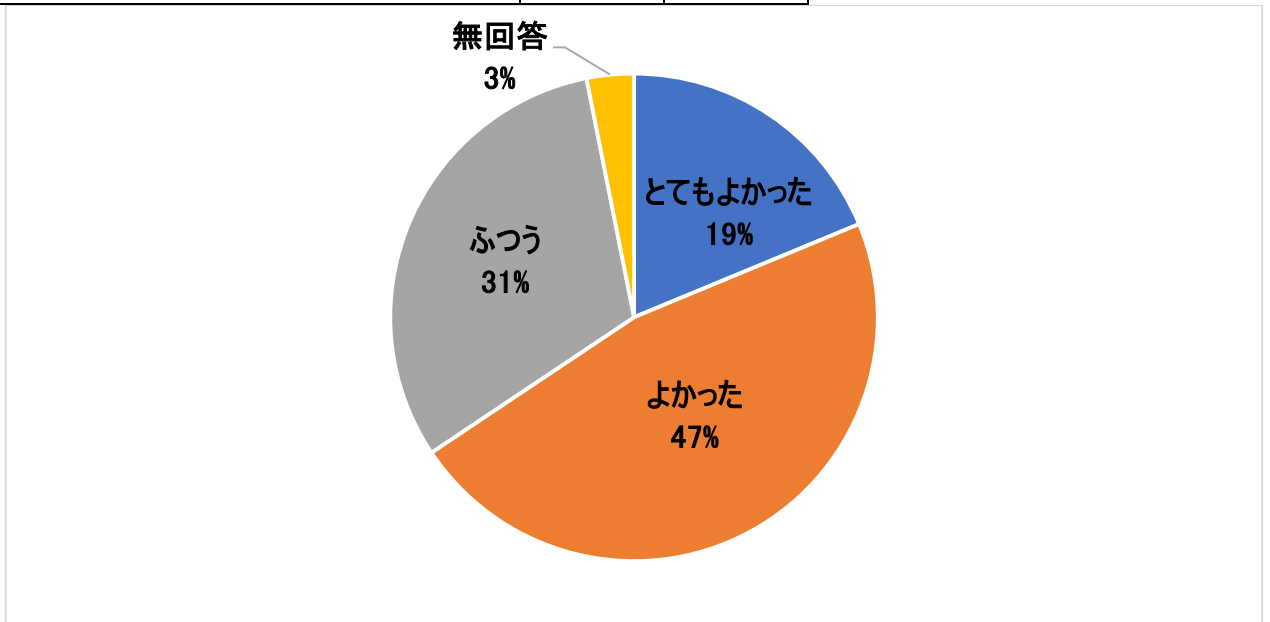
(2)あなたの職種を教えてください。

職種	人数	割合
介護職	10	31.2%
管理職	7	21.9%
リハ職	5	15.6%
営業職	3	9.4%
管理職・介護職	2	6.3%
エンジニア	1	3.1%
ケアマネ	1	3.1%
医療職	1	3.1%
事業所指定・指導担当	1	3.1%
その他	1	3.1%
合計	32	100.0%



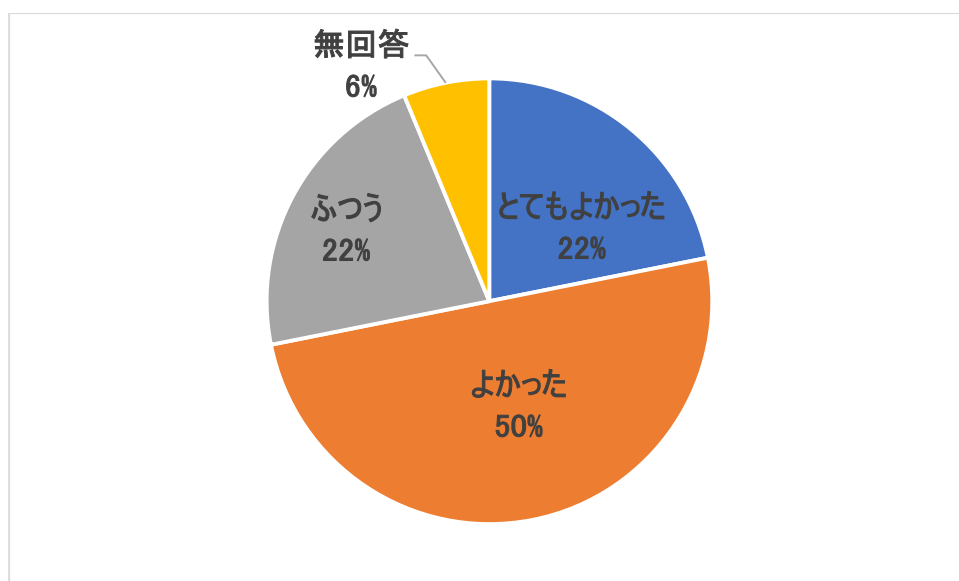
(3)フォーラムは有意義なものとなったでしょうか？

選択	人数	割合
とてもよかった	6	18.8%
よかった	15	46.9%
ふつう	10	31.2%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
無回答	1	3.1%
合計	32	100.0%



(4) 展示会は有意義なものとなったでしょうか？

選択	人数	割合
とてもよかった	7	21.9%
よかった	16	50.0%
ふつう	7	21.9%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
無回答	2	6.31%
合計	32	100.0%



(5)本日のフォーラムについてのご感想やご意見などございましたら、ご記入ください。

中信地区での開催をお願いしたい。
活用できるための考え方(ポイント)が理解できた。
とても参考になったので今後も開催して欲しいです。
改めて介護ロボットの現状や導入のお話がきけてよかったです。新しい情報を得ることができました。
可能であれば、今後、県内の施設で介護ロボット、ICTを導入した事例を聞いてみたいです。
事業所は「どのように活用できるか」「どんなところがよくなるのか」という提案を含めて、商品の価値をはかっていると思う。企業の提案力に期待したい。
補助金の話をもう少しつこんでききたかった。
現場の課題を的確に分っていただいていたいて取り組んでいくべき方法等参考になった。
介護ロボットの導入を検討しているため参加しました。施設の課題もしっかり把握してから導入する事学ばせて頂きました。
活用のために課題解決。
施設の課題を明確にしてから検討したい。
介護ロボットやICTの導入について施設の考え方は参考になった。
導入に関する話が多く、現場で働く者としてはあまり参考にならなかった。
導入に向けた働き方の参考になった。
これから導入にあたり、どうやって行けば良いか見えてきた。
気になる点がいくつかあった。
ロボット等施設に導入しても使いこなせない。導入した職員がいなくなり、使えなくなるなど話があり実際同じ事があった。導入後どうアップデートしていくのかももっと話が聞きたかった。

(6)本日の展示会についてのご感想やご意見などございましたら、ご記入ください。

もっと大きな会場で色々な機器をみたい。
初めて目にする商品もあり、勉強になりました。
もう少し広いブースがあると密にならず安心できると思いました。
丁寧に説明して下さったのでとても分かりやすかったです。
実際の機器が見られてよかったです。コロナの影響でこういった機会は実に久しぶりでした。
このような展示会は初めてでしたので面白かったです。
上記提案をもっと具体的にしてほしい。
もっとたくさんのロボットを見たかった。
参考になりました。
装着する介護ロボットは、身に付けるだけで重いので、軽くて移乗が楽になるものがいい。
会場はせまいように感じた。
会場がせまかった。
コミュニケーションロボットや入浴支援ロボは実際に見たことなく体験できてよかった。
見守りシステムの展示がもっと多いと良かった。
実物を見ることが出来て良かった。思っていたより、まだ実用するには、不足の部分が多いことがわかった。
もう少し、メーカーさんが見たかった。
費用についてもしっかり教えて下さりありがとうございました。

(7)介護ロボットの試用貸出についてのご意見などございましたら、ご記入ください。

ためてみたいものがいくつかあった。試用申請したいと思う。
職員の声にもよりますが、先ずは
メーカーにもよりますが、1ヶ月程貸出が出来たら評価しやすいかと思います。
システムがあればぜひ利用させていただきたいです。
施設で検討していきたい。

(8)介護ロボットプラットフォーム「相談窓口」「リビングラボ」についてのご意見などございましたら、ご記入ください。

初見でした。相談させていただきたいと思います。
今回初めて知ったので活用出来ればと思います。
新潟までは遠いと思いました。
施設の具体的な課題解決に向けて、アドバイスいただきたいと思います。
ロボット導入にも人材、費用がかかってしまう。その人材や費用について県で補助してもらえるようにならないでしょうか。

(9)介護者、被介護者の立場から介護ロボット使用について、ご意見などございましたら、記入ください。

人員不足は、どうしようもないことなので、ロボットをいかにうまくつかっていきけるかを考えていきたい。
介護職の業務負担軽減、作業効率が課題となっています。
今後の人材不足には必要不可欠であると感じています。勉強していきたいです。
人材不足、質の向上のため活用を検討したい。
やはり現場の介護職は負担を抱えていると思いますので、少しでも軽減できるよう介護ロボット導入について支援していきたいと思います。
大きい案件のロボットも良いが導入がしやすいロボットはないでしょうか？
国や自治体からの補助金の額をもっと増やしていただき、現実的に導入できるように考えてもらいたい。
使用して負担軽減、質の向上ができるといいと感じた。
自分も介助者も今より楽ができれば(笑っていたい)良いと思うが、その為にはおたがいに使いやすい(がまんしたくない)物が必要。ケースによりロボットが合わない事がない物がほしい。

③静岡県

アンケート集約／53枚

合計	アンケート集約結果		計	占有率
53	1、属性 【年齢】	10未満	0	0.0%
		10代	0	0.0%
		20代	2	3.8%
		30代	13	24.5%
		40代	14	26.4%
		50代	20	37.7%
		60代	3	5.7%
		70代	1	1.9%
		80以上	0	0.0%
		不明	0	0.0%
53	1、属性 【地域】	県東部	4	7.5%
		県中部	36	67.9%
		県西部	10	18.9%
		県外	2	3.8%
		不明	1	1.9%
53	1、属性 【勤務先】	介護関係	44	83.0%
		医療関係	0	0.0%
		自治体	1	1.9%
		メーカー	1	1.9%
		販売代理店	3	5.7%
		その他	4	7.5%
		不明	0	0.0%

アンケート集約／53枚

合計	アンケート集約結果		計	占有率
50	1、属性 【職種】 ★複数回答あり ★回答不要もあり ★分母は職種に チェックありの 「46」	医師	0	0.0%
		看護師	2	4.3%
		准看護師	0	0.0%
		理学療法士	0	0.0%
		作業療法士	0	0.0%
		言語聴覚士	0	0.0%
		介護支援専門員	8	17.4%
		介護福祉士	19	41.3%
		福祉用具専門相談員	4	8.7%
		その他介護職員	4	8.7%
その他	13	28.3%		
	不明	0	0.0%	
53	2、シンポジウム内容は？	参考になった	30	56.6%
		参考にならなかった	1	1.9%
		どちらともいえない	2	3.8%
		シンポジウムに不参加	16	30.2%
		不明	4	7.5%
53	3、展示・体験の内容は？	参考になった	48	90.6%
		参考にならなかった	1	1.9%
		どちらともいえない	0	0.0%
		不明	4	7.5%

アンケート集約／53枚

合計	アンケート集約結果		計	占有率
53	4、試用貸出は？	知っていて利用した	13	24.5%
		知っているが利用していない	21	39.6%
		知らない	19	35.8%
		不明	0	0.0%
53	5、相談窓口・リビングラボは？	知っていて利用した	2	3.8%
		知っているが利用していない	11	20.8%
		知らない	39	73.6%
		不明	1	1.9%
53	6、相談窓口・リビングラボの利用希望は？	利用したい	21	39.6%
		利用したくない	1	1.9%
		分からない	27	50.9%
		不明	4	7.5%
53	7、展示機器の台数は？	多いと感じた	1	1.9%
		今回くらいでよい	33	62.3%
		少ないと感じた	17	32.1%
		不明	2	3.8%
53	8、展示機器で興味のあるものは？	あった	35	66.0%
		なかった	1	1.9%
		不明	17	32.1%

アンケート集約／53枚

合計	アンケート集約結果	計	占有率
135	8、展示機器で興味のある機器は？		
	★複数回答あり ★分母はアンケート枚数の「53」		
	ROBOHELPER SASUKE (サスケ)	11	20.8%
	移乗サポートロボット Hug L1	11	20.8%
	スカイリフト (SL-2018R)	3	5.7%
	立位補助機 サラフレックス	1	1.9%
	床走行リフト マキシツイン	0	0.0%
	パワーアシストスーツ J-PAS fleairy	9	17.0%
	A i s e r v [®] 排泄検知システム	0	0.0%
	水洗式ポータブルトイレ 「流せるポータくん」	15	28.3%
	PALRO [®] 高齢者福祉施設向けモデルIII	9	17.0%
	リコー けあマルシェ	4	7.5%
	ベッドセンサーシステム／同ベーシック	9	17.0%
	ブルーオーシャンノート	9	17.0%
	a a m s. 介護	6	11.3%
	ネオスケア	3	5.7%
	パルモスマートコール	13	24.5%
	見守りケアシステム M-2	6	11.3%
	眠り解析センサー M-Sleep	3	5.7%
	シッタープロ	0	0.0%
	ほのぼのNEXT	5	9.4%
ほのぼのTALK	1	1.9%	
H i t o m e Q ケアサポート	4	7.5%	
ケアカルテ	4	7.5%	
その他	0	0.0%	
不明	9	17.0%	

アンケート集約／53枚

合計	アンケート集約結果		計	占有率
53	9、介護の際に 介護ロボットを 利用したいと思 う？	思う	36	67.9%
		思わない	1	1.9%
		どちらともいえない	10	18.9%
		不明	6	11.3%
	10、自由意見			
49	11、職場でのロ ボット 導入は？	導入している	19	38.8%
		導入していない	24	49.0%
		不明	6	12.2%
38	12、導入 ロボット タイプは？ ★複数回答あり ★分母は「導入 している」の 「19」	移乗－装着	6	31.6%
		移乗－非装着	5	26.3%
		移動－屋外	1	5.3%
		移動－屋内	1	5.3%
		移動－その他	0	0.0%
		排泄支援－処理	0	0.0%
		排泄支援－誘導	1	5.3%
		排泄支援－動作	0	0.0%
		見守り－施設	10	52.6%
		見守り－在宅	0	0.0%
		コミュニケーション	1	5.3%
		入浴支援	1	5.3%
		介護業務支援	4	21.1%
		その他	0	0.0%
不明	8	42.1%		
49	13、導入・活用 での課題は？	ある	29	59.2%
		ない	0	0.0%
		どちらともいえない	4	8.2%
		不明	16	32.7%

④山口県

山口県介護ロボット地域フォーラム2023 アンケート集計

1 年齢		(n=27)	
1	10代	0	0.0%
2	20代	1	3.7%
3	30代	6	22.2%
4	40代	8	29.6%
5	50代	6	22.2%
6	60代	5	18.5%
7	70代	1	3.7%
8	80代	0	0.0%

2 性別		(n=27)	
1	男性	18	66.7%
2	女性	7	25.9%
3	無回答	2	7.4%

3 地域		(n=27)	
1	山口県内(下関市17・山口市1)	18	67%
2	県外(福岡・愛媛・岡山・大阪2・奈良・神奈川・東京2)	9	33%

4 勤務先		(n=27)	
1	介護関係	8	29.6%
2	医療関係	3	11.1%
3	自治体	0	0.0%
4	メーカー	6	22.2%
5	販売代理店	3	11.1%
6	その他	7	25.9%
7	回答しない	0	0.0%

5 職種		(n=27)	
1	医師	0	0.0%
2	看護師	1	3.7%
3	准看護師	0	0.0%
4	理学療法士	3	11.1%
5	作業療法士	2	7.4%
6	言語聴覚士	0	0.0%
7	介護福祉士	1	3.7%
8	介護支援専門員	1	3.7%
9	その他介護職員	2	7.4%
10	福祉用具専門相談員	0	0.0%
11	開発担当者	2	7.4%
12	販売担当者	2	7.4%
13	その他	13	48.1%
14	回答しない	0	0.0%
15	無回答	0	0.0%

6 役職・職位		(n=27)	
1	代表	2	7.4%
2	施設長	1	3.7%
3	部長	1	3.7%
4	係長	1	3.7%
5	リーダー	2	7.4%

7 シンポジウムの内容は参考になりましたか？		(n=27)	
1	参考になった	23	85.2%
2	参考にならなかった	0	0.0%
3	どちらともいえない	0	0.0%
4	回答しない	2	7.4%
5	無回答	1	3.7%

前問の理由		(n=13)	
1	認知症歩行の関連性について興味がわいてきた。		
2	見たこともない介護ロボットばかりだったのでとても参考になりました。		
3	土井先生の話は背景なども見えてきて分かりやすかった。 安田先生の話は、基本的に製品紹介かなと感じた。		
4	認知機能と歩行との関連。アルプルの使用方法。		
5	歩行と認知機能の関係		
6	介護ロボットの種類の概念が変わった。		
7	共感型バイオフィードバックシステムによる高齢者の歩行自立支援がすごく勉強になりました。		
9	参加していない		

8 講師の話は聞き取りやすかったですか？		(n=27)	
1	聞き取りやすかった	24	88.9%
2	聞き取りにくかった	0	0.0%
3	どちらともいえない	0	0.0%
4	回答しない	2	7.4%
5	無回答	1	3.7%

9 今後、興味のあるテーマのWEBセミナーがあれば受講を希望しますか？		(n=27)	
1	WEBセミナーを受講したい	18	66.7%
2	できる限り現地（対面）開催のセミナーを受講したい	4	14.8%
3	どちらともいえない	4	14.8%
4	回答しない	0	0.0%
5	無回答	1	3.7%

10 WEBセミナーの改善点や要望があれば記載してください	
1	展示をもっと増やして。
2	講義と展示のブースを分けてもいいかもしれません。

11 企業展示ページで何をしましたか？(複数回答あり)		(n=27)	
1	テキスト等を読む, 製品紹介(動画等)の閲覧	11	40.7%
2	製品紹介(動画等)の閲覧, 各種資料のダウンロード	4	14.8%
3	各種資料のダウンロード	0	0.0%
4	企業担当者との個別連絡	1	3.7%
5	企業展示ページを見ていない	2	7.4%
6	その他	2	7.4%
5	無回答	9	33.3%

12 展示機器(プレゼンテーション)の中で興味のあるものはありましたか？		(n=27)	
1	あった	17	63.0%
2	なかった	2	7.4%
3	回答しない	1	3.7%
5	無回答	7	25.9%

13 興味があった機器	
1	パワースーツ カメラ
2	Hacha パワーアシストハンド
3	見守りセンサー
4	人体感知系の見守りロボット
5	見守りカメラ ピュアット
6	アルブル 腰のアシストスーツ(電動とNON電動2種類)←動力ありと動力なし
7	ハチャ
8	アルブル
9	アルブル
10	介護ベッド(見守りシステム?) シャワーヘッド(ピュアット?)
11	手指. 足首のリハビリテーション補助ロボット パワーアシスト
12	移乗アシスト(ハコベルデ, JPASフレアリー) リリアムスポット2
13	パワーアシストシリーズ
14	画像認識サービスを活用した次世代見守りカメラ(見守りCUBE・ネオスケア?)
15	リリアムスポット2

14 フォーラムの感想、介護ロボットに対する意見があればご自由にお書きください	
1	時代に合ったロボットの必要性を感じた
2	特定の製品ではなく様々な視点からアプローチされたものを見て良かった
3	展示のすべてを見ていませんが、2種説明をしていただいた。知らなかったこと、初めて知ったこと等があり、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。
4	他メーカーさんのアシストスーツ
5	ポケモンGOや歩行量に応じたポイント制など歩行目的ではなく、違う目的で歩いているといった内容が良かった。インフォメーションが確かに必要だと感じた。
6	シンポジウムの内容がとてもよかった。機器がもっと幅広ければ…。
7	フォーラムは意義あると思いますので、より多くの方が参加できるようになればよいと思います。介護ロボットがますます普及し、活用が進むことを望みます。
8	共感システムというのがとても良いと思いました。利用者の課題を体感することで、よりアドバイスがしやすくなると思いました。パワーアシストだけでなく、いつかは痛み、メンタルなども共感できるシステムができると良いなと思っています。
9	普段見ることのない介護ロボットを拝見させていただき勉強になりました。施設の方だけでなく、広く一般の方にもこのようなロボットがあると知っていただける機会があれば良いと思いました。(今後自分の親を介護していく年代として)
10	補助金活用して導入を検討し、関節業務の軽減を図りたい。

介護現場対象

15 現在、あなたの職場では介護ロボットを導入していますか？ (n=10)		
1 導入している	3	30.0%
2 導入していない	7	70.0%
3 回答しない	0	0.0%

16 導入しているのはどのようなタイプの介護ロボットですか？ (n=10)		
1 移乗介助（装着型）	0	0.0%
2 移乗介助（非装着型）	0	0.0%
3 移動支援（屋内）	1	10.0%
4 移動支援（屋外）	0	0.0%
5 移動支援（その他）	0	0.0%
6 排泄支援	0	0.0%
7 排泄予測	0	0.0%
8 排泄支援（動作）	1	10.0%
9 入浴支援	1	10.0%
10 見守り（介護施設）	2	20.0%
11 見守り（在宅）	0	0.0%
12 コミュニケーション	1	10.0%
13 介護業務支援	1	10.0%
14 その他	0	0.0%

17 あなたは介護をする際に介護ロボットを利用したいと思いますか？ (n=10)		
1 思う	8	80.0%
2 思わない	0	0.0%
3 どちらともいえない	0	0.0%
4 回答しない	0	0.0%
5 無回答	2	20.0%

18 現在のコロナ禍は介護ロボットの普及・促進に影響を及ぼすと思いますか？ (n=10)		
1 思う	7	70.0%
2 思わない	0	0.0%
3 どちらともいえない	2	20.0%
4 回答しない	0	0.0%
5 無回答	1	10.0%

前問の理由	
1 介護負担の軽減になる	
2 コロナに関係なく、もっと広く世の中に知ってもらい、関係者だけが知っているのではなく、一般社会にも利用していくとよいと思う。	
3 感染対策が優先して、通常の介護支援ができない。	
4 人材不足	

⑤佐賀県

佐賀県介護ロボット地域フォーラム 2022 シンポジウムアンケート結果

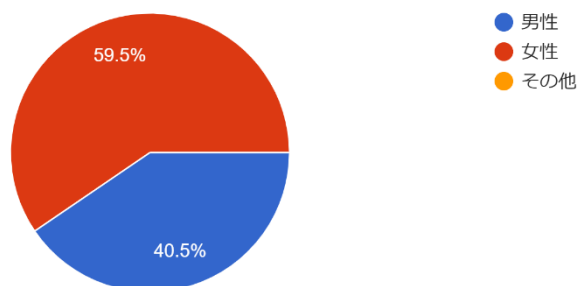
日時 令和4年10月16日(日) 10:00~12:00

参加者 来場:39名、WEB:6名⇒計45名

アンケート回答 43件(回答率95.6%)

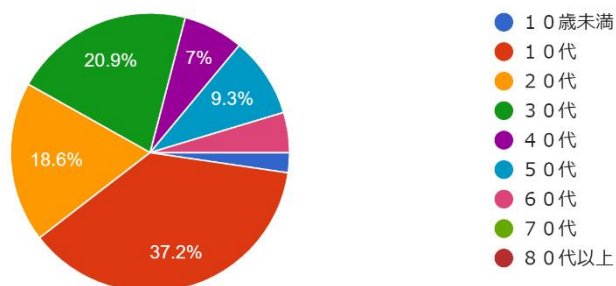
Q1-1.あなたの性別をお答えください

42件の回答

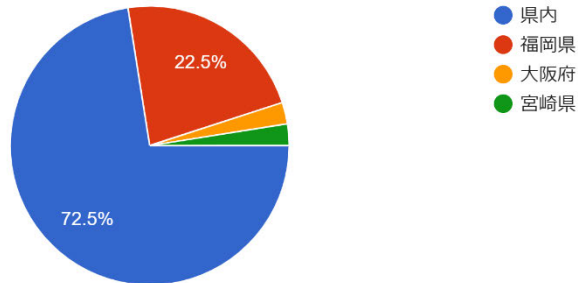


Q1-2.あなたの年齢をお答えください

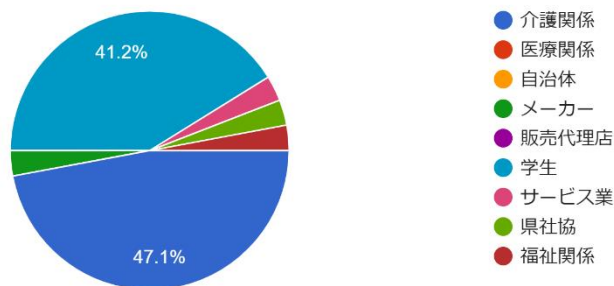
43件の回答



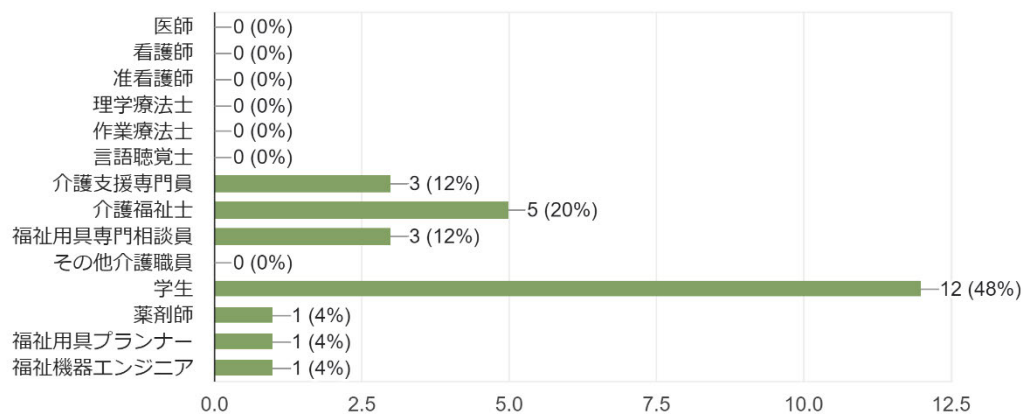
Q1-3.あなたのお住いの地域をお答えください
40件の回答



Q1-4.あなたの勤務先をお答えください
34件の回答

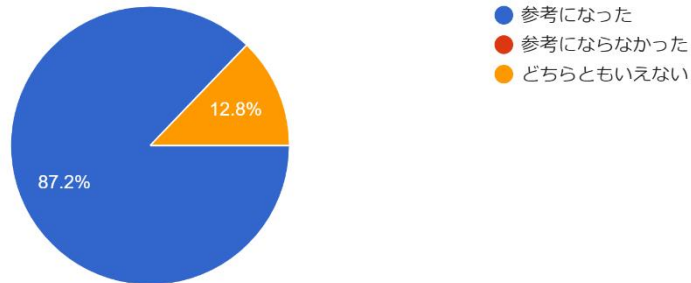


Q1-5.あなたの職種についてお答えください
25件の回答



Q2.シンポジウムの内容は参考になりましたか。

39 件の回答



上記回答を選択した理由をご記入ください。

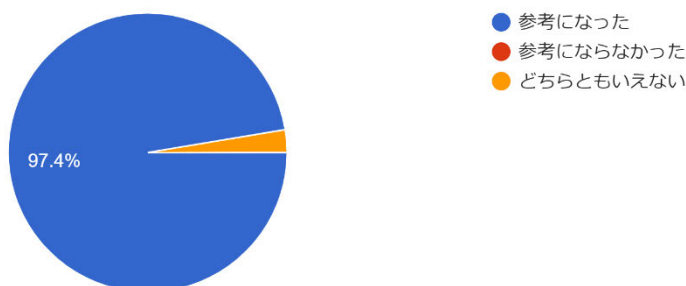
25 件の回答

- ・よかった
- ・現在の介護現場の課題や、希望されている内容が理解できました。
- ・介護ロボットを少しわかった
- ・最新の情報も多く、現状が理解できました。
- ・介護ロボットには、興味があったのでよかった。
- ・ロボットを導入してどのようなところが改善したのか具体的にわかってよかった
- ・現場で取り組んでおり、実体験した際の効果を知ることができたから
- ・介護者、介助者どちらもの負担軽減の取り組みが行われていることが知れた
- ・様々な支援方法が知れたから
- ・介護職員に対する支援があることが分かった
- ・使ったことのないロボットについて知れた
- ・参考になった部分もあったが分からない所もあったため
- ・分かりやすかったです
- ・介助方も介助やる方も負担が減少になると思う
- ・詳しく書かれていてわかりやすかった
- ・介護の現場の状況が把握できた
- ・知らなかったものの知識が増えた
- ・介護ロボットの導入について学びました
- ・説明がわかりやすかった
- ・知らなかった介護ロボットが知れたところと、メリット、デメリットがよく分かった
- ・介護現場でロボットを導入することによって、利用者と介護者の減るのだと実感した
- ・話を聞いたから

- ・メモもできました
- ・初めて知って興味が出てきたから

Q3.介護ロボット・福祉機器の紹介、実演の内容は参考になりましたか。

38 件の回答



上記回答を選択した理由をご記入下さい。

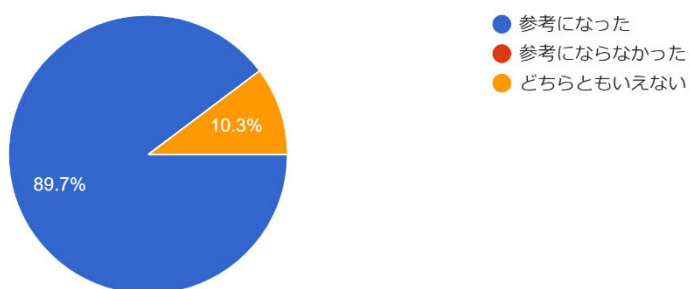
24 件の回答

- ・よかった
- ・それぞれに課題改善のための工夫が感じられました。
- ・実際の様子をみれたので
- ・ロボット機器も、進化していると感じました。ロボットの音声や所々で聞き取りが難しかった。
- ・介護ロボットに興味があったので良かった。
- ・介護者、介助者両方とも思いを復元的に考え作られてよいと思った
- ・あらたな支援方法が見られたから
- ・学校では見れないロボットを見ることができてとても良かった
- ・知らなかった福祉用具について知ることができた
- ・分かりやすかったです
- ・導入していない施設もあるので導入できればもっといいのかなと思います
- ・近い将来導入されるととても役に立つと思った
- ・使用方法について分かった
- ・実際にどういう風に導入されているのかわかりやすかった
- ・福祉機器の紹介の中で利用者のため安全安心に解除できるようにすることが大事である
- ・いろいろなロボットについて知ることができた
- ・知らなかった介護ロボットや福祉機器について知ることができたから

- ・ロボットの機能と使用方法について学ぶことができた
- ・分かりやすかったから
- ・介護ロボットについて知識が増えた
- ・Chapit が利用者を話の相手にしてくれるからです
- ・普段使わない麻痺側を使えるゲームとか見てすごいと思いました
- ・どういったことを行っていいのか知ることができたから

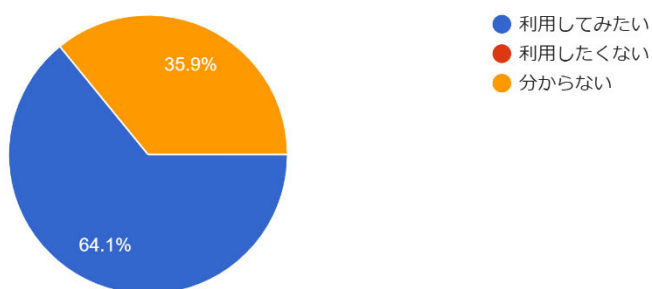
Q4.介護ロボットの試用貸出について参考になりましたか。

39 件の回答



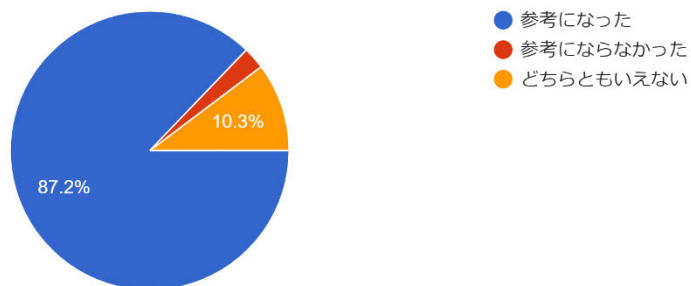
Q5.介護ロボットの試用貸出を利用してみたいですか。

39 件の回答



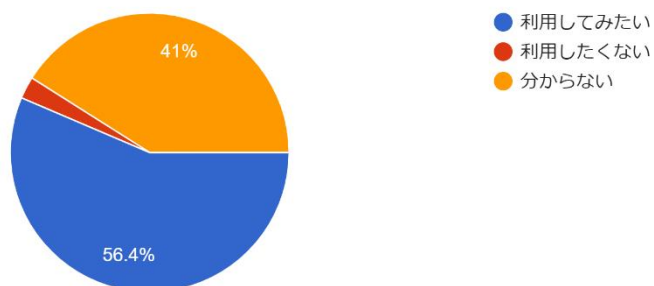
Q6. 介護ロボットの相談窓口について参考になりましたか。

39件の回答



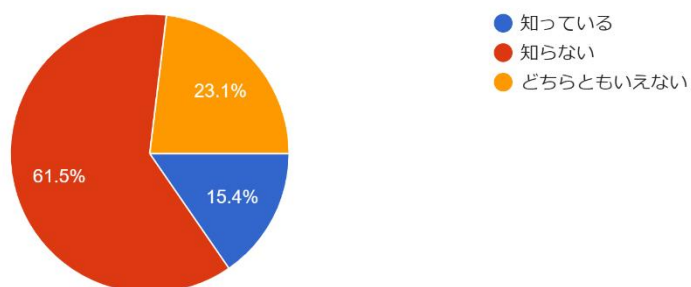
Q7. 介護ロボットの相談窓口を利用してみたいですか。

39件の回答



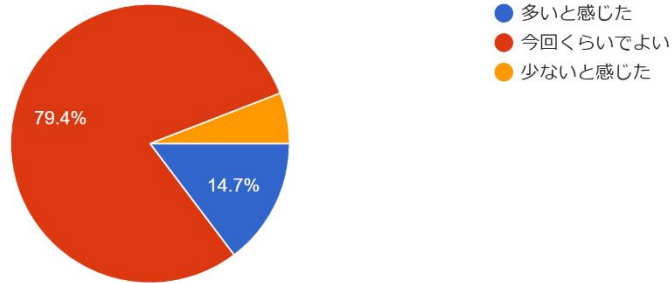
Q8. 介護ロボットのリビングラボを知っていますか。

39件の回答



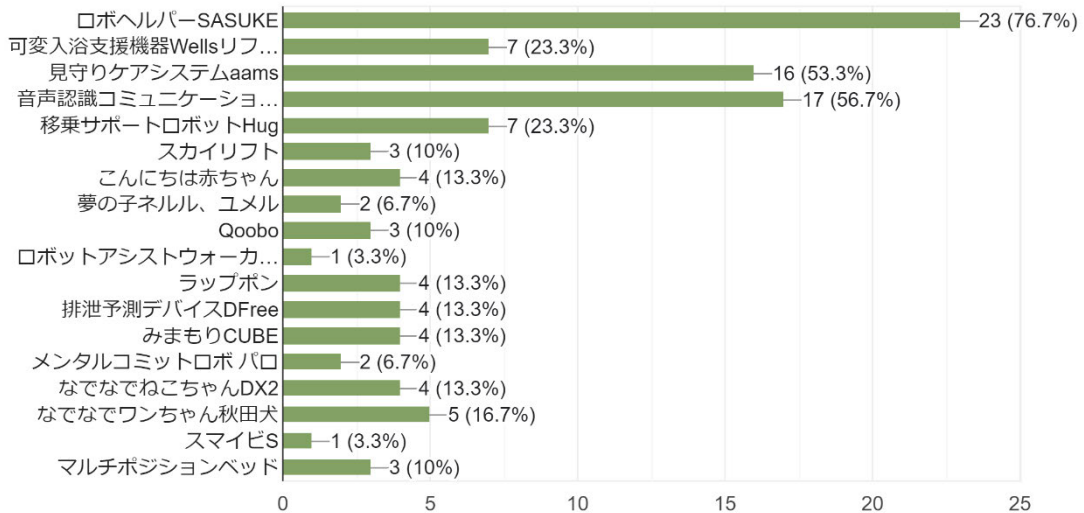
Q9.展示機器の台数はどうでしたか。

34 件の回答



Q10.興味があった機器を教えてください（複数回答可）

30 件の回答



Q11.本日のフォーラムの感想や介護ロボットに対する意見があればご自由にお書き下さい。

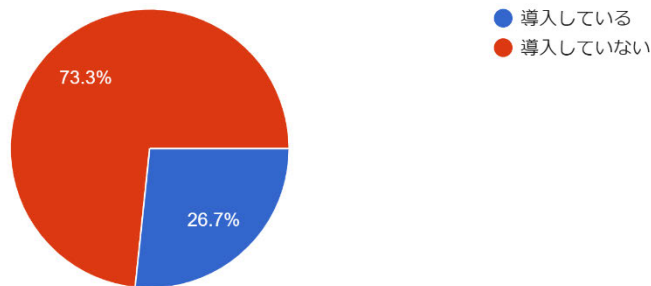
9 件の回答

- ・介護ロボットを多くのかたに知っていただき、使って体験いただくことが重要だと感じました。誠にありがとうございました
- ・介護ロボットがどういうものかを、少し理解できた。貸し出しから購入はどのようなかと思った

- ・今回在宅での活用場面あった様に、在宅での使用も進めば有り難いと感じます。
- ・県からの報告：従来の福祉機器導入の目的（介護負担軽減、自立支援）であり、30年前と変わらない→少々残念でした。介護ロボットの導入でどういう質的改善があり佐賀県にとってどういう意味を持つかに触れるべきではないか。コロナを契機として新しいニーズが明白の中ネット利用の効果にも社会的評価がなされている。この社会変化にどう対応できているのかの話。施設報告：人的介護から機器導入への移行の話であり、介護ロボットの話に至っていない。麻生さん：話はそれなりに的を射ていると感じました。最後のまとめ（アップデート）の所を県の方から聞いたかったな
- ・いろいろな介護職場に使用できるロボットを紹介されて面白いロボットを知ることができ、もっともっとコミュニケーションができる AI も付いているロボットを開発してほしいと思います。
- ・高齢者のため安全楽しいかわいい役に立つと思う
- ・全介助の方のため二人介助として、ロボヘルパーサスケを使用することがいいと思った
- ・様々な職種の方が説明に来られていたので多面的に学ぶことができた。現場で導入している事業所の方からの説明もありメリット、デメリットについてたくさん学べた

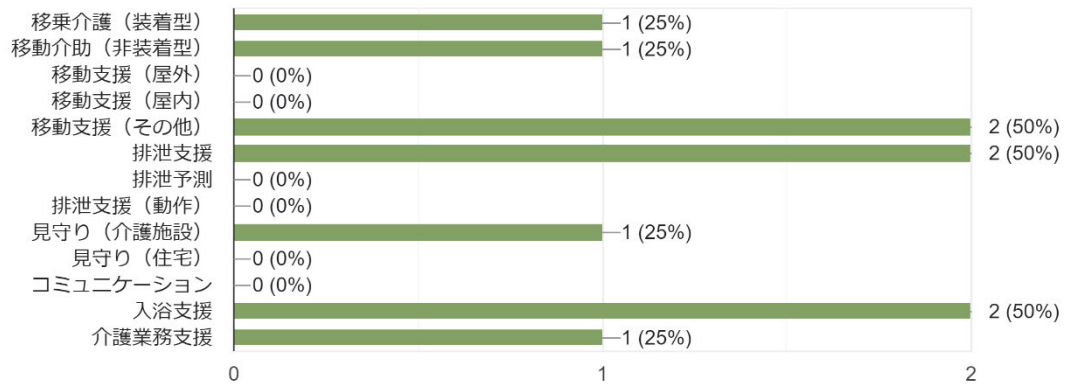
Q12. 現在、あなたの職場では介護ロボットを導入していますか。

15件の回答



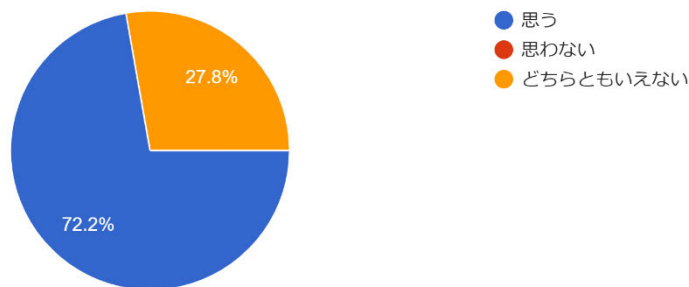
Q13.導入しているのはどのようなタイプの介護ロボットであうか。

4件の回答



Q14.あなたは介護をする際に介護ロボットを利用したいと思いますか。

18件の回答



上記回答を選択した理由をご記入下さい。

12件の回答

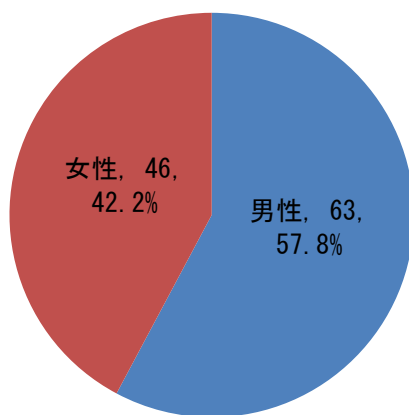
- ・利用者さんと相談して決めたいので
- ・腰痛予防は日本の介護業界の大きな課題である為、介護ロボを活用し自分の身を守りたいと思います
- ・コロナの発生から非接触対応が不可欠になったり、ネット利用の効果が社会的にも認められ導入がしやすい雰囲気になってきている。特別な技術だという高いハードルのイメージは払しょくできればいいですね
- ・介護ロボットといっても半分くらいは機械だけと思うのでまだ人は必要だと思います
- ・便利だから
- ・負担をしないでいいのならしたほうがいいと思う

- ・介護者の負担軽減のため、腰痛予防のため
- ・負担軽減のため
- ・実際にまだ自分自身が介護する身になっていないので、かかる時間や物の大きさが詳しくわからないため
- ・介助者も利用者も安全安楽なことになるので介護ロボットを利用したいと思いました
- ・利用者の安全安楽な生活を送られるように。介助者の負担を減らせるように
- ・SASUKEは麻痺の方のためすごいかなと思う

⑧ アンケート集計結果

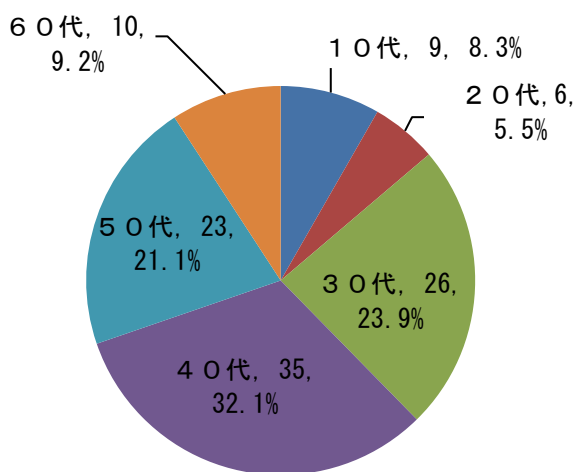
1. あなたの性別、年齢、お住まいの地域、勤務先、職種についてお答えください。

① 性別（単一回答、n=109）



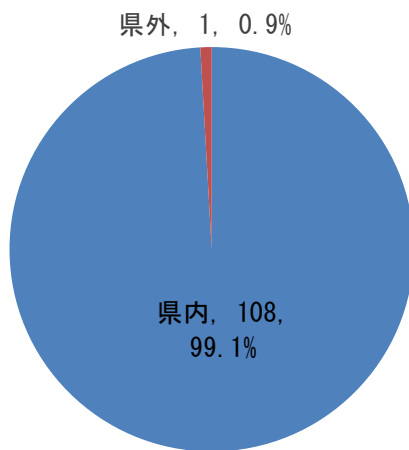
(n=109)

② 年齢（単一回答、n=109）



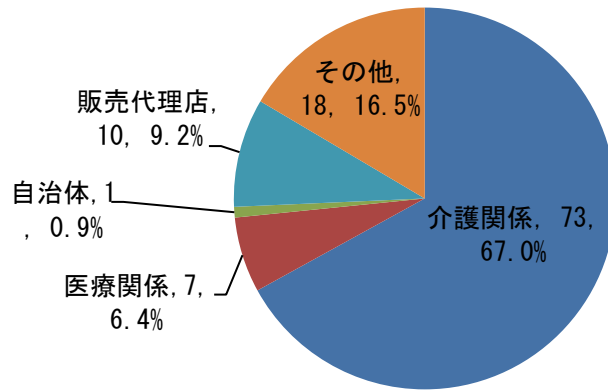
(n=109)

③ 地域（単一回答、n=109）



(n=109)

④ 勤務先（単一回答、n=109）

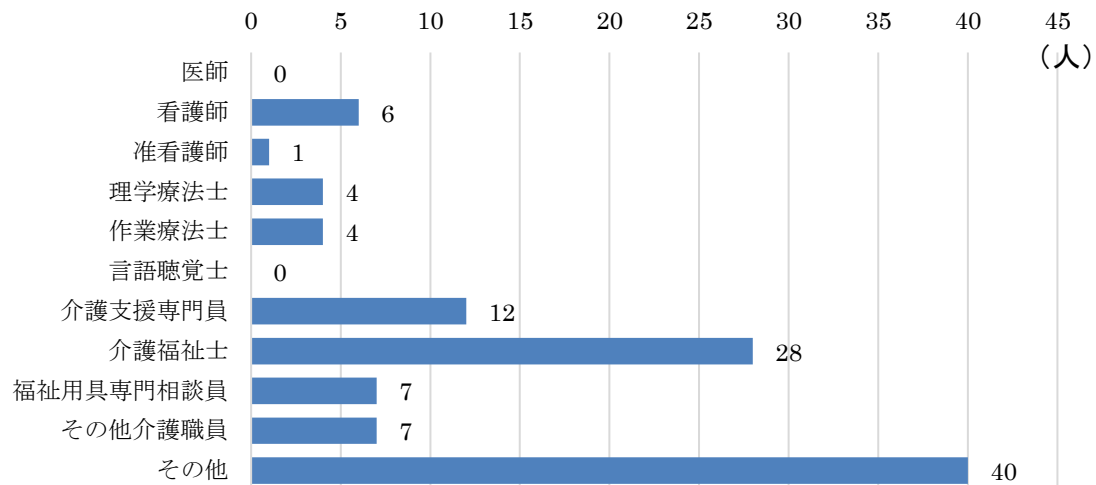


(n=109)

（その他の職業）

- 法人保健施設
- 介護教員
- 学生

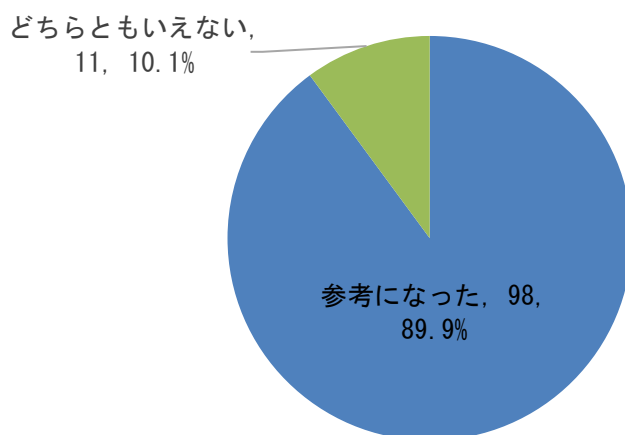
⑤ 職種（複数回答、n=109）



（その他の職種）

- 理事長
- 施設長
- 管理者
- 相談員、生活相談員
- 社会福祉士
- 事務長補佐、事務次長
- 事務
- ICT 担当
- 医薬品卸
- 営業職
- 講師、専門学生

⑥ フォーラムの内容は、参考になりましたか。(単一回答、n=109)



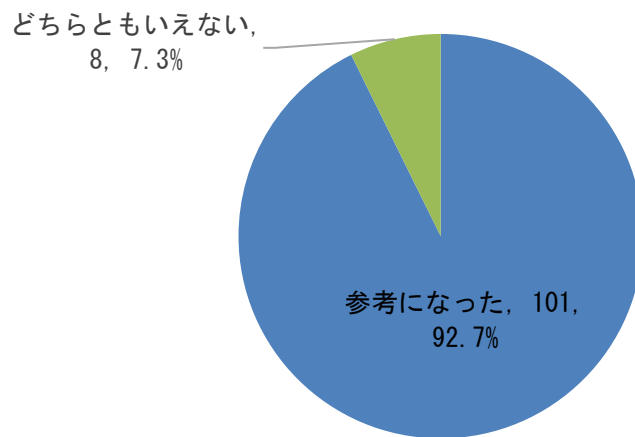
(n=109)

(理由・感想)

商品を実際に見て触れることができた。
技術、使い勝手の改善等について知ることができた。
最新の情報が得られて良かった。
介護ロボット助成があることを知れた。
それぞれの機器を分かりやすく説明したものを参考にしたいと思う。
展示物を見ることができ、説明を受けることができて良かった。
実物を見る・話を直接聞いたのは大変良かった。
様々な機器の進化を感じた。ニーズに合致してきている。
IGT化を進めている最中でしたが、まだまだ勉強不足だったのでいろいろ知れて良かった。
体交枕や新しい物があり活用していきたい。
長崎県の方針を理解できた。
新しい商品等を体験できた。
施設介護において導入できればですが、より良いケアの提供に役立てると思いました。
初めて参加させてもらい色々な物を見て、もし現場に入れられたら利用者、スタッフ共に負担が減るのかなと思わせる物が多かったように思います。
現在の技術を知ることができ参考になりました。
今後の方向性を知ることができた。
カタログでは見られない最新の商品を見ることができました。最近では利用者様がご自分で調べて取り寄せ希望される方もおられる為、知識を得る機会を提供して頂き感謝しています。
なかなかこの機会に参加できることもないのでとても勉強になりました。
電動の機械の種類が多さを知ることができた。
現物を確認でき、イメージが生まれた。
移乗サポートロボットが参考になった。
欲しい商品がいくつかありました。
色々な機器を見ることができた。
最新のものを知ることができた。
分かりやすかった。

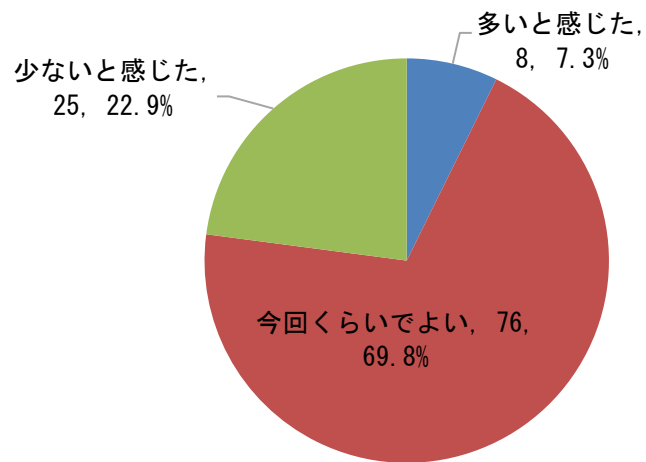
<p>事業所の建替えを考えており、入浴支援をより安全かつスムーズに行いことができる浴槽など探していたので、一度に色々見ることができて良かった。</p>
<p>コロナ禍での開催ありがとうございました。もっと多くの出展者の方とお話したかったです。</p>
<p>様々な機器が見られてよかった。</p>
<p>長崎県の取組み内容が知れて良かった</p>
<p>長崎県内での先進的な取組みや介護ロボット利用にあたっての考え方など勉強することができた。</p>
<p>和光会様の話が自分の職場とよく似ていて参考になりました。</p>
<p>今後は、必須となる ICT 化。目的をはっきりさせる事と今からどんなものが必要でどんな機器があるのか知っておかないと対応できなくなる。長崎県は補助金など取組みをしてくれている。導入に向けてマニュアル（運用マニュアル）があると良いと思った。</p>
<p>展示ブースで最新の情報を、セミナーでは現状や今後の展望を知ることができた。</p>
<p>介護ロボットの種類をたくさん知ることができた</p>
<p>様々なロボットや導入するにあたっての対策について知ることができた。</p>
<p>介護ロボットの現状が見られたこと。</p>
<p>学校では体験できない機械がたくさんあっていい経験になった。</p>
<p>施設現場の事例、参考になりました。</p>
<p>事例発表において、内容が現場に即した内容でとても参考になった。</p>
<p>セミナーについて分かりやすく特に谷川様の施設での実情を話して頂き、とても参考になりました。</p>
<p>色々な体験ができて良かった。</p>
<p>色々なロボットがあった。</p>
<p>これから働いていく環境に必要なになっていくものばかりで覚えておきたいと思ったから。</p>
<p>色々な福祉用具を体験できて視野が広がった。</p>
<p>商品のしくみが細かくされていて疑問に思ったことも解決できた。</p>
<p>機械を使って介護者と利用者の体の負担を減らすことを考えた商品が沢山あって勉強になりました。</p>
<p>今後、ますます増える利用者をサポートしていく人材の不足分をいかに効率的にまた、ロボット・ICTなどの代用できるものの活用をいかにしていくかの必要性が伝わってきました。</p>
<p>インカム、眠りスキャンの活用、導入が分かりやすかった。</p>
<p>実物を見られた。予定していない企業も見られて参考になった。</p>
<p>分かりやすかった。</p>
<p>ポータブルトイレに感動しました。</p>

⑦ 介護ロボット・ICT機器の紹介、実演の内容は、参考になりましたか。(単一回答、n=109)



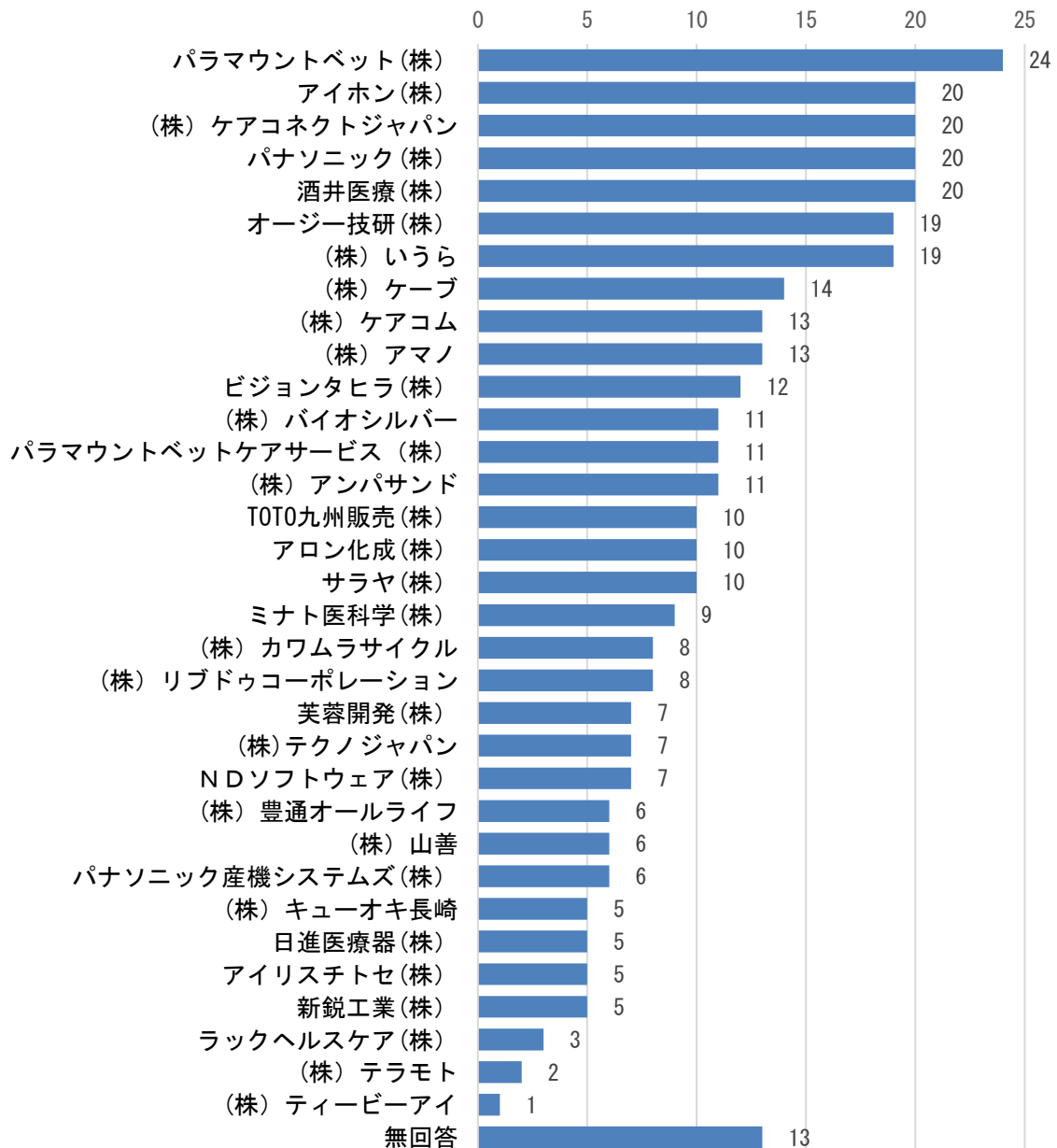
(n=109)

⑧ 展示機器等の台数はどうでしたか。(単一回答、n=109)



(n=109)

⑨ 展示の中で興味のある物ほどの展示でしたか。(複数回答、n=109)



⑩ フォーラム及び介護ロボットに対する感想、ご意見等があればご自由にご記入ください。

- 色々な新商品が見学出来て良かった。
- 施設、ご利用者様へお勧めします。ありがとうございました。
- 良かった。
- 多くの事業所に導入頂いて負担軽減と利用者満足を高めてもらいたい。
- 介護職員さんの負担が減る機械や備品を導入検討したい。その際、現場の職員さんへ使う際のデモをお願いしたい
- 参考になりました。お値段が高いのは納得ですが、もう少し低価であるとよいなと思いました。
- もっと色々な物が出てきてほしい。値段が安くなってほしい。
- 丁寧に説明していただき、参考になりました。

会場入口に看板を立ててあった方がよいと思いました。1日だけだと調整困難で見に行けません。

介護ロボット導入への補助事業を継続してほしい。

医療の発達を感じてこれからはどのように変化するのか楽しみになった。

前回よりも会場が広く、展示企業も多くて良かった。ブースを見る時間も午前中からあったが、できれば、午後からでセミナー、展示を見る時間が取れば助かります。

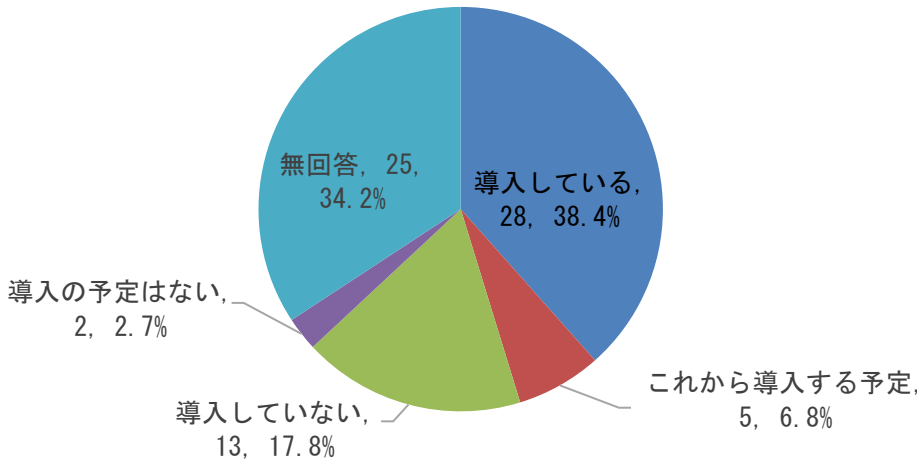
私たちが目指す介護士という職種に必要なと思った。

とても便利でかわいらしいと思いました。これからの介護には必要だと感じた。

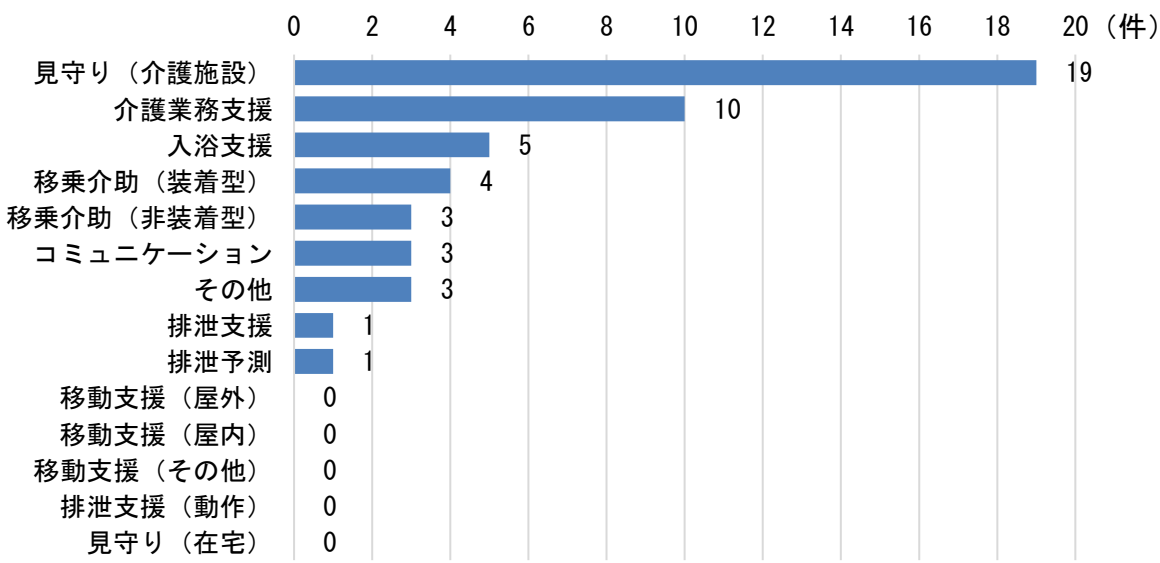
実演で見るのができたので参考になりました。

以下の回答は、介護事業者の方のみの回答となります。(n=73)

⑪ あなたの職場では、介護ロボット・ICTを導入していますか。(単一回答、n=73)



⑫ どのようなタイプの介護ロボットを導入又は導入予定ですか。(複数回答、n=73)



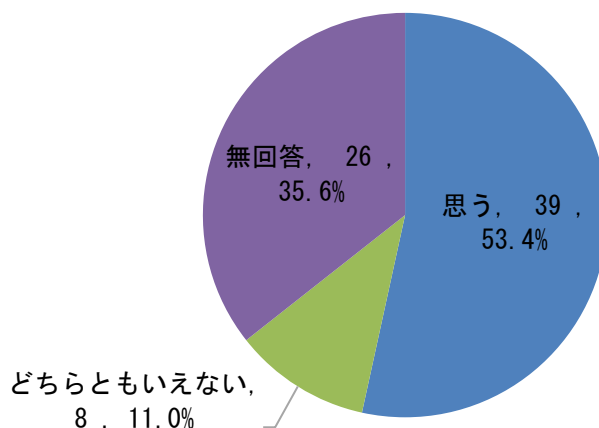
<具体的な機種名>

分類	機種名
見守り（介護施設）	眠リスクャン
	離床センサー
	ナースコール
介護業務支援	ほのぼの
	ケアカルテ
	ブルーオーシャン
	音声入力
入浴支援	アダージオ
	TOTO リフト
	トウッティ
移乗介助（非装着型）	リフト

<その他>

- ・ 記録ソフト
- ・ OG技研

⑬ あなたは介護する際に介護ロボットを利用したいと思いますか。（単一回答、n=73）



<「利用したいと思う」理由>

職員の負担軽減や生産性向上を目的とする意見が最も多く、次いで利用者の安心・安全なケアを目的とする理由が多い結果となりました。

介護職員の負担軽減
ロボットの活用によって労力軽減につながる。
利用者、職員の高齢化に対応していかなければならない。
人材不足の中で必要性が高いから。
腰痛対策や事故が嫌。
介護職員の負担をなるべく減らし、利用者、入居者への時間をもっととれるようにしたい。
介護負担軽減。
マンパワー不足、リフティングケアの推進のため。

とても便利な商品（介護ロボット）があり、生産性の向上へつながるためには必要だと思いました。
利用者様と職員の負担、ストレスの軽減によりパフォーマンス向上するため。
職員の連携や身体的負担の軽減にもつながると思いました。
人出不足を解消したい。
職員に負担軽減、人手不足解消、より安心・安全なサービス提供のため。
重度化に伴う、スタッフ、利用者の負担が増加しており、適切なケアの実施及びスタッフの負担軽減のため。
介護業務支援の ICT での記録にて業務効率が上がる。
今日体験した Hug は利用者様にも職員にも良い。県をあげて対応して頂いているので（補助金）経営陣を説得しやすい。これからも ICT 化を進めていきたい。
身体的、精神的負担が大きいため。
介護時の負担軽減（利用者、職員）にもなるし、慣れるまで時間がかかるかも知れないが使いこなせば業務改善や時間短縮になるため。
マンパワーと ICT ロボットの協働は、施設運営の必須条件である。
生産性向上のため。
今後は、必須な物だと思うので。
楽に安全、安心して介護できると思います。
事故等を増やしていない。
より安全な介護のため。
利用者様が安心・快適にサービスを利用して頂けると思うから。
重度でも最後まで自宅でと思われる方の希望になる為。
利用者、職員の安心、安全確保できるため。
眠りスキャン等の介護ロボットで事故を未然に予防できている為。
入居者の心理的負担の軽減。
利用者、職員にとって良いものを使わない理由がない。（目的を持って使用できれば）

厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」

参加費
無料
入退場自由

介護ロボット 全国フォーラム

テクノロジーを活用した未来の介護

令和5年

1/27 金
11:00~16:30

開催場所

TOC有明

(東京都江東区有明)

4階コンベンションホール
WESTおよびEASTホール

<https://www.toc-ariake.jp/>



公益財団法人テクノエイド協会
The Association for Technical Aids(ATA)



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

本事業は厚生労働省の委託を受けて「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」の一環として行うものです。

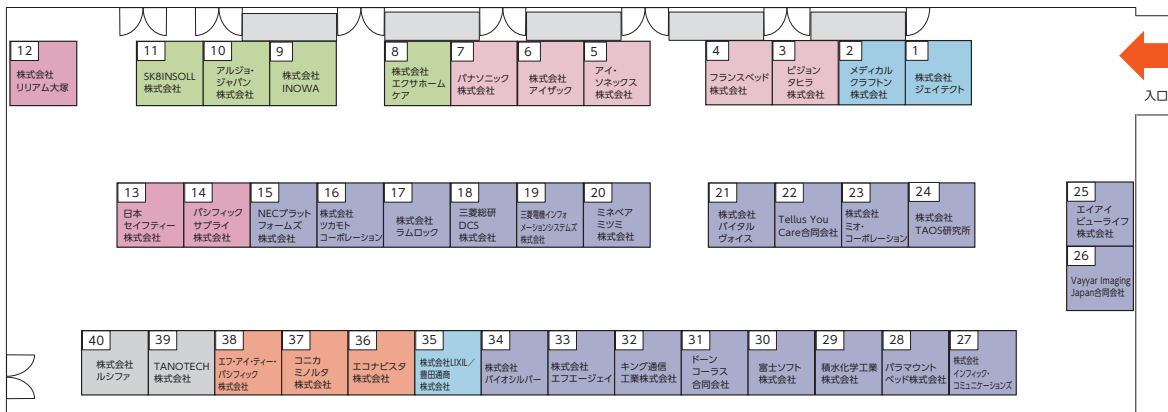
介護ロボット全国フォーラム

テクノロジーを活用した未来の介護

WESTホール

最新機器の展示、体験、デモ、相談 (11:00~16:30)

高齢者や障害者の自立や介助、介護者の業務を支援する介護ロボットを中心に、製品化された実機の展示・説明・相談ほか(40社の実機を展示)



No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ/分野	No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ/分野
1	株式会社ジェイテクト	介護作業用パワーアシストスーツ J-PAS fleairy(ジェイパス フレアリー)	移乗支援(装着)	21	株式会社バイタルヴォイス	オンライン自動モニタリングシステム VitalVoice	見守り・コミュニケーション
2	メディカルクラフトン株式会社	DARWING Hakobelude (ダーウィン ハコベルデ)	移乗支援(装着)	22	Tellus You Care合同会社	Tellus	見守り・コミュニケーション
3	ビジョンタヒラ株式会社	電動昇降フルリクライニングキャリア FC-320	移乗支援(非装着)	23	株式会社ミオ・コーポレーション	iTSUMOアイ	見守り・コミュニケーション
4	フランスベッド株式会社	離床支援 マルチポジションベッド	移乗支援(非装着)	24	株式会社TAOS研究所	見守りモニターAISleep	見守り・コミュニケーション
5	アイ・ソネックス株式会社	スカイリフト SL-2018R	移乗支援(非装着)	25	エイアイビューライフ株式会社	自立支援型見守りロボット [A.I.Viewlife]	見守り・コミュニケーション
6	株式会社アイザック	移乗ロボット keipu-Sb	移乗支援(非装着)	26	Vayyar Imaging Japan合同会社	ミリ波レーダーセンサー Vayyar Care (バヤーカー)	見守り・コミュニケーション
7	パナソニック株式会社	施設向け歩行トレーニングロボット	移乗支援(非装着)	27	株式会社インフィック・コミュニケーションズ	LASHIC-care(ラシクケア)	見守り・コミュニケーション
8	株式会社エクサホームケア	CareWiz トルト	移動支援	28	パラマウントベッド株式会社	眠りSCANを用いた見守り支援システム	見守り・コミュニケーション
9	株式会社INOWA	体感型歩行自立支援システム Arbre(アルブル)	移動支援	29	積水化学工業株式会社	見守りセンサー ANSIEL	見守り・コミュニケーション
10	アルジョ・ジャパン株式会社	サラフレックス	移動支援	30	富士ソフト株式会社	PALROビジネスシリーズ 高齢者福祉施設向けモデルⅢ	見守り・コミュニケーション
11	SK8INSOLL株式会社	A.I.歩行姿勢分析支援システム Senno Gait セノゲイト	移動支援	31	ドーンコーラス合同会社	高齢者施設・障害者支援施設向け見守り支援・生活記録システム「もりん2」	見守り・コミュニケーション
12	株式会社リリアム大塚	リリアムスポット2	排泄支援	32	キング通信工業株式会社	シルエット見守りセンサ	見守り・コミュニケーション
13	日本セイフティー株式会社	ラップボン・パケット	排泄支援	33	株式会社エフエーজেイ	排泄センサーと離床・転倒・徘徊センサー	見守り・コミュニケーション
14	パシフィックサプライ株式会社	クイックレイザー2	排泄支援	34	株式会社バイオシルバー	aams	見守り・コミュニケーション
15	NECプラットフォームズ株式会社	NECサニタリー利用記録システム	見守り・コミュニケーション	35	株式会社LIXIL/豊田通商株式会社	泡シャワー KINUAMI U	入浴支援
16	株式会社ツカモトコーポレーション	AlgoSleep (アルゴスリープ)	見守り・コミュニケーション	36	エコナビスタ株式会社	ライフリズムナビ+Dr.	介護業務支援
17	株式会社ラムロック	みまもりCUBE-システムLight-	見守り・コミュニケーション	37	コニカミノルタ株式会社	HitomeQ ケアサポート	介護業務支援
18	三菱総研DCS株式会社	Link&Robo for ウェルネス (高齢者施設向けコミュニケーションロボットサービス)	見守り・コミュニケーション	38	エフ・アイ・ティ・パシフィック株式会社	モノミルケア ~見守りセンサー+自動記録~	介護業務支援
19	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	AI x 見守りサービスkizkia-Knight (きづきあ-ないと)	見守り・コミュニケーション	39	TANOTECH株式会社	TANO	その他
20	ミネベアミツミ株式会社	①みまもりベッドセンサーシステム ②ベッドセンサーシステムベーシック	見守り・コミュニケーション	40	株式会社ルシファ	トレpro	その他

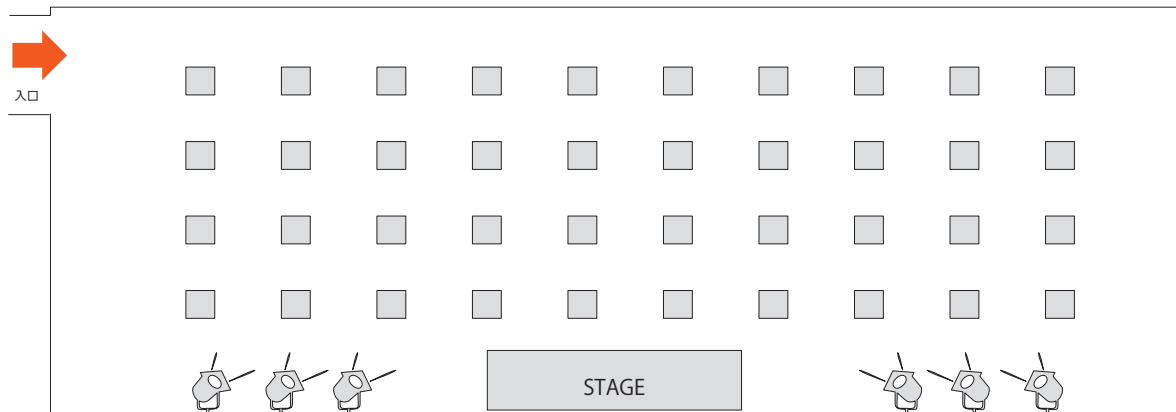


EASTホール

シンポジウム (13:00~16:10)

介護ロボットに係る重点政策及び、事業の成果、先進事例の報告等を行います。(入退室自由)

※事前登録制とさせていただきます、参加申込をされていない方は、入場できません。※入場制限あり



13:00	開会 挨拶(ビデオ) 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 司会 公益財団法人テクノエイド協会
13:10-13:50 (各20分) 行政報告	「介護現場の生産性向上について」 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長 須藤 明彦氏 「経済産業省におけるロボット介護機器産業政策について」 経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長補佐 南須原 美恵氏
13:50-14:00	休憩
14:00-14:40 (各20分) 成果報告	「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施について」 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 松本 美樹子 「介護ロボット開発・普及・実証のプラットフォーム事業について」 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 先端技術戦略ユニット 足立 圭司氏
14:40-14:50	休憩
14:50-16:10 (各20分) 基調報告	テクノロジーを活用した未来介護の実践 「A.I.歩行姿勢分析支援ツールの活用」 SOMPOケア株式会社 門真光の森デイサービス 中西 寿男氏 「科学的介護に繋ぐ、デイサービスから生まれた運動プログラム自動作成システム」 株式会社ルシファ 綿谷 美佐子氏 ロボット・AIを活用した新たな介護システムの提案 「入浴介助用製品 泡シャワー “KINUAMI U”」 株式会社LIXIL LWTJ 事業企画部 新規事業プロジェクト 平田 知明輝氏 豊田通商株式会社 ヘルスケア・メディカル事業部 第一G 吉田 雄氏 「科学的介護の実践～画像IoTで大きく変わるアセスメントの質～」 コニカミノルタ株式会社 岡田 真和氏
16:10	閉会 公益財団法人テクノエイド協会

16:30 閉会

■ 出展機器



移乗支援(装着)

1 株式会社ジェイテクト

介護作業用パワーアシストスーツ J-PAS fleairy(ジェイパス フレアリー)

介護作業における腰の負担軽減に着目したパワーアシストスーツです。センサー内蔵により、人の動きに調和し必要な時に必要な力をアシスト。移乗支援やおむつ交換など、幅広い介護作業で効果を発揮。「先進性・独自性」及び「ユーザー視点」が評価され、第10回ロボット大賞において、優秀賞(ビジネス・社会実装部門)を受賞



〒448-8652 愛知県刈谷市朝日町1-1
TEL.0566-25-5193

2 メディカルクラフトン株式会社

DARWING Hakobelude (ダーウィン ハコベルデ)

介護者のための、まるで衣服のようなアシストスーツ。ひねり動作等の動きに対応でき、総重量は約800g。

移乗動作のアシストを想定し、前屈やしゃがむことで高反発ゴムが伸び、その張力を利用して前屈姿勢から上半身の起き上がりやしゃがみ姿勢からの立ち上がりをアシスト。背中や腰、大腿の負担軽減に役立つ。空気を5回程度ポンピングするだけで中腰姿勢のキープを楽にできる。



〒701-0203 岡山県岡山市南区古新田1125
TEL.086-282-1770



移乗支援(非装着)

3 ピジョンタヒラ株式会社

電動昇降フルリクライニングキャリア FC-320

移乗介助する際は腰をかがめなければならぬため、腰に負担がかかるが、電動で昇降するので持ち上げない介護が可能になり、負担を軽減!

また横付け機能付で狭いスペースでも、とりまわしが楽にできます。さらに高さメモリ機能で高さ合わせを考えずに昇降できるため、昇降中もご利用者もしっかり見守ることが出来ます。



〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4
TEL.03-3661-4312

4 フランスベッド株式会社

離床支援 マルチポジションベッド

寝姿勢から自力で立ち上がるのが難しい療養者に向けた「立ち上がり」を支援するマルチポジションベッド。寝姿勢から座る、立ち上がるまでの一連動作をリモコンのボタン1つで実現でき、自立促進を図るベッドとなっています。



〒106-0032 東京都港区六本木4-1-16
TEL.03-5549-2936

5 アイ・ソネックス株式会社

スカイリフト SL-2018R

起立姿勢で移乗・移動ができるスタンディングリフト。車いすやトイレへの移乗はもちろん、下衣の着脱、臀部の清潔保持、パッドの交換等、排泄ケアをサポートします。1人介助の実現、介助者の腰痛予防だけではなく、要介護者が気兼ねなく介助を頼める、下肢機能の維持・改善が期待できる等、双方が安心して使用できます。



問合せ先 〒702-8004 岡山県岡山市中区江並100-7
TEL.086-200-1550

6 株式会社アイザック

移乗ロボット keipu-Sb

Keipu-Sbは、後部から乗込む移乗機です。シートをベッドの高さに合わせ陸続きにして後部より滑り込むように移乗が可能です。移動については、電動のモーターが装備されているので、ジョイスティックを利用して介護する方はもちろん、介護される方も操作可能です。トイレなどの狭い場所でも、その場で移乗機を電動で回転可能です。



問合せ先 〒965-0021 福島県会津若松市山見町25-9
TEL.0242-93-5061

7 パナソニック株式会社

施設向け 歩行トレーニング ロボット

運動負荷と歩行の可視化で科学的に歩く力を鍛えます。手軽に個人に合わせた運動負荷の設定ができ、記録も自動で残るので、継続性の高い歩行トレーニングを提供できます。音楽やロボットからの声掛けもあり、楽しみながら体力維持・向上が期待でき、日常生活の活性化を支援します。



問合せ先 〒571-8508 大阪府門真市大字門真1006番地



移動支援(屋内)



移動支援(屋外)

8 株式会社エクサホームケア

CareWiz トルト

スマートフォンやタブレットで高齢者の歩行動画を撮るだけでAIが転倒リスクを点数化し歩行状態の解説やおすすめの運動をサポートと出すことができます。介護サービス事業所の身体アセスメント、提案を支援します。



問合せ先 〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2汐留住友ビル21階
TEL.03-6453-0510

9 株式会社INOWA

体感型歩行自立支援システム Arbre (アルブル)

歩き方(踵とつま先の接地状況)を腰ベルトの振動子で本人に伝え、さらに介助者にも同じ刺激を提示し、効果的な転倒予防・歩行練習が可能になるものである。



問合せ先 〒106-0045 東京都港区麻布十番2-12-5-701
TEL.03-5730-0282

■ 出展機器

10 アルジョ・ジャパン株式会社

サラ・フレックス

一人介助で座位⇔立位へと電動でサポートをする立位/移乗補助器です。利用者の腰にスリングを装着し、フックを本体に取り付けてボタンを押すだけの簡単操作。脚部は電動開閉で、車いすや便器などへの移乗もスムーズ。また認知症にも優しいデザインとしてDSDC製品適格性認定を受けております。



問合せ先 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-7-8
ランテック第2虎ノ門ビル9階 TEL.03-6435-6401

11 スケートインソール SK8INSOLL株式会社

A.I.歩行姿勢分析 支援システム Senno Gait セノゲイト



たった2分で歩きを見える化。移動支援介護ロボット「セノゲイト」は、30秒歩くだけでAIがスマホにレポートを表示し、歩行リスクの解決策を提案します。AI導入で歩行状態や転倒リスクの見える化による削減、オーダーメイドで機能訓練の提案、介入効果の数値化、補助用具の保険外収入増など、他施設との差別化が可能です。

問合せ先 〒144-0051 東京都大田区西蒲田6-32-11
城南信用金庫連沼支店3階 J-Create+
TEL.080-6640-2029 E-mail:info@tokyoinsoll.com

排泄支援
(排泄物処理)

排泄支援
(動作支援)

排泄支援
(排泄予測)

12 株式会社リリアム大塚

リリアムスポット 2



「リリアムスポット 2」は、膀胱内の尿の溜まり具合の目安を10段階の目盛り表示で確認できるヘルスケア家電（非医療機器）です。トイレ誘導のタイミングが合わずお困りの方、尿意が曖昧な方や尿意を頻繁に訴える方など、尿の溜まり具合や排尿後に尿を出し切れているかを確認したい時にお役立ていただくことができます。

問合せ先 〒252-0239 神奈川県相模原市中央区中央1-1-1
ジブラルタ生命相模原ビル3階 TEL.0120-543-563

13 日本セイフティー株式会社

ラップポン・ポケット

自動ラップ機構を搭載したおむつ回収ボックスです。使用済のおむつをフィルムの中に入れて熱圧着にて密封してから切り離し、下のカゴに溜めていきます。ボタンを押すだけで処理が開始し、感染と臭いを予防します。自動なので処理中は別の作業ができます。また個別包装後まとめて廃棄できるので作業効率アップに貢献します。



問合せ先 〒102-0082 東京都千代田区一番町21番地
一番町東急ビル11F TEL.03-6369-2223


14 パシフィックサプライ株式会社

クイックレイザー2




自然な立ち上がりをサポートし、車いすやトイレへの移乗を素早く安全に行えます。移乗に使う専用ベルトは、バックルで固定するだけで簡単に装着可能。装着したままでズボンの着脱も出来るため、排泄場面での利用にも最適です。


問合せ先 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1
TEL.072-875-8013



見守り・コミュニケーション
(施設)



見守り・コミュニケーション
(在宅)



見守り・コミュニケーション
(生活支援)

15 NECプラットフォームズ株式会社

NECサニタリー利用記録システム

介護施設において利用者のプライバシーを守りながら介護職員のトイレに関わる業務負担を軽減するシステムです。
トイレに設置したセンサが利用者の排泄を自動で検知・通知し、利用者の見守りと排泄記録の自動化を行います。
※本製品は医療機器ではありません。



問合せ先 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央三丁目4-7
メットライフ仙台ビル(仙台事業所) TEL.022-212-5852

16 株式会社 ツカモトコーポレーション

AlgoSleep (アルゴスリープ)

介護用みまもりセンサー



アルゴスリープは、在床状態やバイタルのモニタリング機能に加え、睡眠解析に特化した介護用見守りシステムです。業務の効率化だけでなく、データに基づいたご利用者様の睡眠傾向の把握によるケア品質の向上に貢献することを目指して開発を行っております。

問合せ先 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-6-5
TEL.03-3279-6847

17 株式会社ラムロック

みまもりCUBE-システムLight-

ラムロックの画像認識技術は様々な条件を加えることができるので赤外線センサーやマットセンサー等では難しい特定の動きを捉えることができます。
介護施設におきましては対象者のベッドでの端座位の動きやドアから出入りの動きがあった際に介護スタッフにお知らせする見守り機器としてご利用いただいております。



問合せ先 〒820-1111 福岡県飯塚市勢田1950-1
TEL.0948-92-3156

18 三菱総研DCS株式会社

Link&Robo for ウェルネス

(高齢者施設向け コミュニケーションロボットサービス)



「Link&Robo for ウェルネス」はコミュニケーションロボットがレクリエーションのお手伝いをしたり、介護サービス利用者様とおしゃべりするサービスです。
利用者様の交流に活気をもたらし、介護従事者様のレクリエーション企画・運営の負担軽減、レクリエーション履歴を記録することで介護従事者間の情報共有をサポートします。

問合せ先 〒140-8506 東京都品川区東品川四丁目12番2号
品川シーサイドウエストタワー TEL.03-3458-8376

19 三菱電機インフォメーション システムズ株式会社

AI x 見守りサービスkizkia-Knight (きづきあ・ないと)

居室もトイレもトータルに見守り「見る」ことで業務負担軽減を支援します。
居室内を広範囲に見守ることができ、プライバシーモードとリアル映像を切替えが可能。
トイレはシルエット映像でプライバシーに配慮して見守れます。
また、取付け・取外しが簡単で運営中施設への設置や、設置後の別室への移設も簡単です。



問合せ先 〒108-0023 東京都港区芝浦4-13-23 MS芝浦ビル
TEL.03-5445-7306

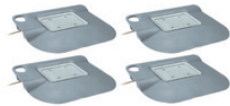
■ 出展機器

20 ミネベアミツミ株式会社

- ① みまもりベッドセンサーシステム
- ② ベッドセンサーシステムベーシック

① ベッド脚下に設置した荷重センサーが利用者様の状態(位置・姿勢、体動)を検知します。生活リズムの把握や参考体重の測定が可能となるため、利用者様の安全、介護従事者の業務負担削減とケアの品質向上、ご家族様の安心に貢献します。

② ニーズの高かった参考体重測定・離床検知のふたつの機能をシンプルに実現しました。



問合せ先 〒108-6314 東京都港区三田3-5-27
住友不動産三田ツインビル西館 TEL.0120-288-435

21 株式会社バイタルヴォイス

オンライン自動モニタリングシステム VitalVoice

弊社独自開発のバイタルウォッチ(センサー)により、ご利用者はウォッチを装着しているだけで、4つのバイタル(①脈拍、②血圧、③体温、④酸素)を2分毎に自動でモニタリングできます。※③は4分毎

このシステムにより、高齢者の重症化を未然に防いだり、非接触での介護スタッフの労務軽減が実現できます。



問合せ先 〒719-1106 岡山県総社市泉15-44 2F
TEL.0866-31-5775

22 Tellus You Care合同会社

Tellus



「Tellus」は、カメラでもウェアラブルでもない、最先端のレーダー技術を用いた見守りセンサーです。「Tellus」を設置するだけで、入居者の状態や睡眠・心拍・呼吸などを24時間365日、遠隔でモニタリング可能です。ご入居者のプライバシーを保ちつつ、「生活リズムを把握します」。

問合せ先 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-4-4梅崎ビル3F
TEL.080-7593-0443

23 株式会社ミオ・コーポレーション

iTSUMOアイ

認知症高齢者の見守りをAIカメラによって行い、対象者が家を出ようと玄関に近づくとセンサーが反応してアラート通知を行います。

最大の特徴は、カメラに映る人間の姿を棒人間に変換して映し出します。

棒人間処理はセンサー内部AIチップで行っており生データが保存、サーバーに蓄積される事はありません。

※オプションにて外部通信機能ご利用の際には、スマートフォンやタブレットに専用のアプリが必要です。



問合せ先 〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区中川中央2-5-9
TEL.045-624-9928

24 株式会社TAOS研究所

見守りモニター AiSleep



見守りモニターAiSleepはベッドマットの下に敷くだけで、バイタルデータを計測し、在床・睡眠状態のリアルな情報を見る化、被介護者の起き上がり、離床の一連の行動をモニタリングし、アラート通報します。介護現場に多い転倒・転落・徘徊事故を未然に防ぎ、介護の質向上を目指します。

問合せ先 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-15
パレアナビル801号 TEL.045-620-7647

25 エイアイビューライフ株式会社

自立支援型見守り ロボット [A.I.Viewlife]



「見る・知る・話す」を基本機能に赤外線センサーと生体センサーが昼夜問わず居室全体を検知・通知・記録する事で、重大な事故の防止や不要な訪室を減らします。

モバイル端末で居室内を見ながら直接のお声かけや動作検知、設定時刻に自動でお声かけする「声かけ」機能、モバイル間通話機能が介護業務の変革を後押しします。

問合せ先 〒102-0092 東京都千代田区隼町2番13号 US半蔵門ビル201
TEL.03-6261-6327

26 Vayyar Imaging Japan (バイヤーイメージングジャパン)

ミリ波レーダー センサー Vayyar Care (バイヤーケア)

独自のミリ波レーダー技術により1台のセンサーがご利用者の居室内の状況や転倒の有無を検知し、介護者へ通知します。カメラ不使用のためプライバシーが守られ、トイレや脱衣場等にも設置可能です。各社ナースコール、見守りシステム用のセンサーとしてご採用いただく前提で設計しております。



問合せ先 〒108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イースワタワー 7F
TEL.070-4393-3726

27 株式会社インフィック・ コミュニケーションズ

LASHIC-care (ラシクケア)



見守りシステム業界唯一の介護事業者が自社開発したシステムです。居室の温湿度、照度、運動量、ベッド上の在/不在、心拍数等、センサーで得た情報を解析。居室の状況をモニターに表示し、異変検知時には通知します。カメラを使用せずプライバシーに配慮しながら、完全非接触で質の高い見守りを実現します。

問合せ先 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
TEL.050-1790-0601

28 パラマウントベッド株式会社

眠りSCANを用いた見守り支援システム



マットレスの下に設置したセンサにより、体動(寝返り、呼吸、心拍など)を検出、睡眠状態などを端末にリアルタイムで表示します。眠りSCANを用いた見守り支援システムを活用することでスタッフの業務負担軽減、利用者の生活習慣の改善等にお役立ていただけます。見守り支援システムと連動するカメラも展示いたします。

問合せ先 〒136-8670 東京都江東区東砂2-14-5
TEL.03-3648-1171

29 積水化学工業株式会社

見守りセンサー ANSIEL



100施設以上に導入されている起上検知・在床管理を1台で両立できる見守りセンサーです。Wi-Fiを利用したクラウドサービスですが、ランニングコストが発生しないので、導入しやすいセンサーです。心拍呼吸を取得でき、機能強化および外部機器・システムとの連携も拡大しております。

問合せ先 〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4
オークラプレステージタワー21F TEL.03-6748-6525

30 富士ソフト株式会社

PALROビジネスシ リーズ 高齢者福祉 施設向けモデルⅡ



全高40cm、重さ1.8kgの卓上サイズの人型コミュニケーションロボット。歌・クイズ・ゲーム・体操・落語等豊富なコンテンツを搭載し、日替わりのレクリエーションを実施します。また、100人以上の顔と名前を覚え、日常会話や個々人に合わせた声かけ等を行います。

問合せ先 〒221-0822 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川1-10-10
TEL.050-3000-2136

31 ドーンコーラス合同会社

高齢者施設・障害者 支援施設向け 見守 り支援・生活記録シ ステム「もりん2」



利用者様の離床や座位、寝返りや体動量(睡眠の質)、バイタルデータ(心拍・呼吸数)、温度・湿度等を、PC・タブレット等に一覧表示し、過去データの閲覧、通知も可能(座位、離床、室温異常、看取り、等)。非接触・非拘束型、多床室対応。工事不要。設置や移設も簡単。保守費用やクラウド使用料等不要。

問合せ先 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-6
りそな九段ビル5F・KSフロア TEL.03-6755-8046

■ 出展機器

32 キング通信工業株式会社

シルエット 見守りセンサ



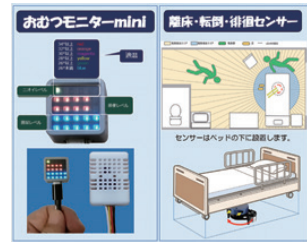
入所者・入院患者の動きをシルエット動画で判別することにより、ベッドからの起き上がり、はみ出しを検知し、ベッドからの落下や徘徊を未然に防ぎます。介護施設や医療機関で働く職員の負担を軽減し、特に認知症の方、夜間見守りで効果を発揮します。

問合せ先 〒158-0092 東京都世田谷区野毛2-6-6
TEL.03-3705-8110

33 株式会社エフエージェイ

排泄センサーと離床・転倒・徘徊センサー

1. 排泄センサーはシーツの下に設置したニオイセンサーと湿度センサーで排尿と排便を検出します。
2. 離床・転倒・徘徊センサーはベッドの下に設置した回転するレーザー光線で人体の大きさと距離を測り、離床・転倒・徘徊を検出します。



問合せ先 〒241-0826 横浜市旭区東希望が丘7-25芙蓉ビル2階
TEL.045-532-5581

34 株式会社バイオシルバー

aams



非接触・非拘束・非侵襲型のマット型生体センサーです。センサーマットから感知される心拍・呼吸・体動の生体情報を、サーバーを通してモニターにリアルタイムで表示します。訪室の間もaamsが24時間ご利用者の様子を見守ることで、見守りのサポートを行います。

問合せ先 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-14-4
シルバービル1F TEL.045-548-5478



入浴支援

35 株式会社LIXIL / 豊田通商株式会社

泡シャワー KINUAMI U

専用ボディソープとお湯、そして多量の空気を混合することにより、シャワーヘッドから柔らかく温かい泡を放出する入浴介助製品です。温かく気持ちよい洗身が利用者様の満足感に繋がるだけでなく、泡立って不要で優しく洗身できるため、介助者の作業負担を軽減し、洗いすぎによる肌の乾燥・ダメージも軽減されます。



問合せ先 〒108-8208 東京都港区港南2-3-13
TEL.050-3155-9814 (豊田通商株式会社)



介護業務支援

36 エコナビスタ株式会社

ライフリズムナビ+Dr.



ベッド、居室活動、トイレ、ドア、温湿度他、多数のセンサーを組み合わせ、非接触での見守りを行う。オプションで、コールシステム、離脱防止の顔認証システムや、カメラ連携、体温・血圧計との連携も可能。新たに転倒検知システムとも連携する。

問合せ先 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-1KKDビル6F
TEL.03-6206-9207

37 コニカミノルタ株式会社

HitomeQ ケアサポート

居室天井に設置したセンサーで直上から部屋全体を把握することで、利用者様の生活リズムや行動の特徴を映像・データによりアセスメントし、訪室の必要性や危険の有無、ADL状態の変化などを日々のケアへ反映できます。また、導入前から導入後も続くデータを活用した伴走支援で、利用者様とスタッフ様を24時間支えます。



問合せ先 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目27-10
八丁堀プラザビル5F TEL.03-6262-1552

38 エフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社

モノミルケア～見守りセンサー+自動記録～

■パッケージ概要

①見守りモニター「AiSleep」

- ・非常に操作が簡単で、面倒な設定は一切なし
- ・離床等を3秒で超高速検知
- ・毎秒のベッド上の動きを見守り
- ・課題の解決方法が見える睡眠解析サービス

②介護記録ソフト「スマートケアMOVE」

- ・非常に操作が簡単で、必要な項目だけ表示
- ・ご要望に合わせて、カスタマイズ可能
- ・LIFE対応



すぐに、簡単に業務負担が軽減

問合せ先 〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-20-15
TEL.03-5820-7021



その他

39 TANOTECH株式会社

TANO

モーションセンサーを使用、センサーカメラに映っている画像から人間の骨格を認識しセンサー類を身に着けることなく、モーションセンサーの前に立つ(座る)だけで体の動きや音声が感知され、180種類以上のコンテンツで「レク/リハ・測定」を行うことができるソフトウェアです。



問合せ先 〒254-0035 神奈川県平塚市宮の前1-4 パーレン平塚ビル 5F
TEL.0463-73-5490

40 株式会社ルシファ

トレpro



無料デモのお申込みはこちら >>

札幌のデイサービスから生まれた、運動プログラム自動作成システムです。携帯アプリを使用した簡単な体力測定、各種計画書、LIFEにも連動しています。

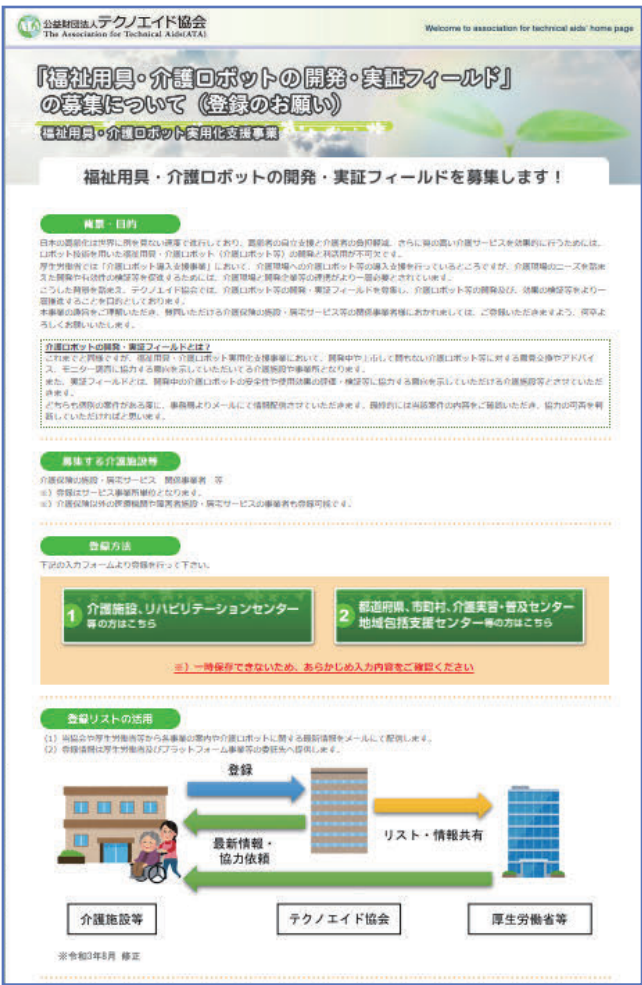
問合せ先 〒006-0815 札幌市手稲区前田5条13丁目3-1
TEL.011-624-5107

「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド」の募集について

テクノイド協会では、介護ロボット等の開発及び、実証等をより一層推進するため、ご協力いただける介護福祉施設等を募集しています。



テクノイド協会



詳細はテクノイド協会ホームページをご確認下さい。
皆様のご登録お待ちしております。

事務局

公益財団法人テクノイド協会 企画部 谷田・松本・根石
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
電話番号 03(3266)6883 FAX 03(3266)6885

企業向け

令和4年度
福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」及び、
「試作介護機器へのアドバイス支援事業」、
「介護ロボット等モニター調査事業」の実施について

募集要項

令和4年6月

公益財団法人テクノエイド協会

本事業は、当協会が厚生労働省老健局から受託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」の一環として行う事業です。従って、予定する件数や予算に到達しだい受付終了となりますので、予めご了承ください。詳しくは、当協会までお尋ねください。

本事業で使用する様式は、当協会のホームページ（<http://www.techno-aids.or.jp/>）からダウンロードしてください。

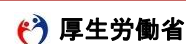
目 次

1. 目的、事業の概要	1
2. 事業内容	3
A. 「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」の募集	3
(1) 募集対象者	3
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	3
(3) 実施内容等	4
(4) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2022」の作成について	5
B. 「試作介護機器へのアドバイス支援事業」の募集	5
(1) 募集対象者	5
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	5
(3) 実施内容等	6
(4) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2022」の作成について	7
C. 「介護ロボット等モニター調査事業」の募集	7
(1) 募集対象者	7
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	7
(3) 実施内容	8
(4) モニター調査の枠組み	9
(5) 応募書類と方法	10
(6) 募集期間	10
(7) 採否の決定等	11
(8) モニター調査の流れ	11
(9) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2022」の作成について	13
3. 本事業に関する問い合わせ先（事務局）	13
4. 様式（企業向けの様式）	15
様式A（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）	15
様式B（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書）	16
様式C（介護ロボット等モニター調査事業 要望書）	18
様式D（介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書）	19
様式E（介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書）	22
5. 参考資料（介護施設等向けの様式）	23
様式1（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書）	23
様式2（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書）	25
様式3（請求書：介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業）	26
様式4（介護ロボット等モニター調査 実施希望書）	27
様式5（介護ロボット等モニター調査 結果報告書）	29
様式6（請求書：介護ロボット等モニター調査）	31
公益財団法人テクノエイド協会の概要	32

「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」及び、 「試作介護機器へのアドバイス支援事業」、 「介護ロボット等モニター調査事業」の実施について

～ 募集要項 ～

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業



背景

急激な高齢化の進展にともない、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズは益々増大する一方、核家族化の進行や、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況も変化している。

また、介護分野においては、介護従事者の腰痛問題等が指摘されており、人材確保を図る上では、働きやすい職場環境を構築していくことが重要である。

このような中で、日本の高度な水準のロボット技術を活用し、高齢者の自立支援や介護従事者の負担軽減が期待されている。

現状・課題

【介護現場からの意見】

- ・どのような機器があるのか分からない
- ・介護場面において実際に役立つ機器がない・役立て方がわからない
- ・事故について不安がある

ミスマッチ!!

【開発側からの意見】

- ・介護現場のニーズがよく分からない
- ・実証試験に協力してくれるところが見つからない
- ・介護現場においては、機器を活用した介護に否定的なイメージがある
- ・介護ロボットを開発したけれど、使ってもらえない

マッチング支援

介護現場のニーズに適した実用性の高い介護ロボットの開発が促進されるよう、開発の早い段階から現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場での実証等を行い、介護ロボットの実用化を促す環境を整備する。

資料：厚生労働省

1. 目的、事業の概要

当協会では、厚生労働省老健局より受託し「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」を実施しています。

本事業は、高齢者介護の現場において、高齢者の尊厳ある自立した生活の保障を目指すための「福祉用具・介護ロボット（以下「介護ロボット等」。）」について、実用化を促す環境を整備し、企業による製品化を促進することを通じて、要介護者の自立支援や介護者の負担軽減を図ることを目的とした事業です。

この度、本事業の一環として、使用する側の「ニーズ」と開発する側の「シーズ」をマッチングする取り組みとして、次頁以降に記載する3事業を行うことと致しました。

それぞれの事業の趣旨を踏まえ、いずれか（あるいは複数）の事業を希望される企業の方は、本書記載の内容に沿って応募してください。

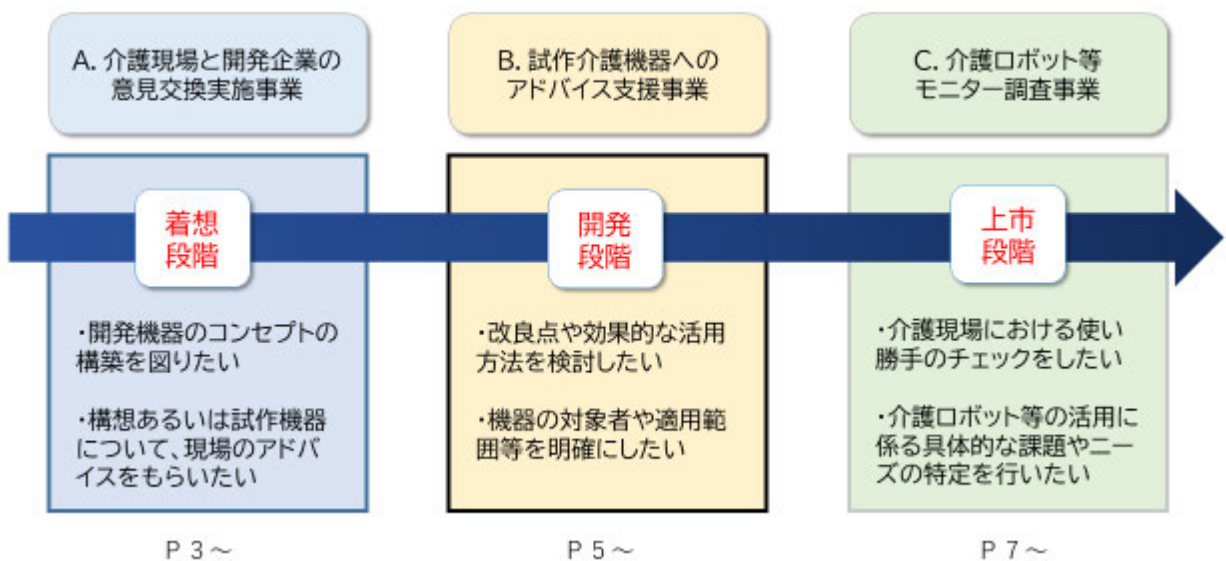
なお、本事業は、予算の範囲で実施するものであり、予定の件数に到達しだい受付終了となりますので

で予めご了承ください。

また、本事業においては、介護現場・有識者等からの意見を通じて、介護ロボット等に対する利用効果や使い勝手等の課題や改良点等について支援を実施するものではありませんが、利用効果や使い勝手等の課題は、使用場所（提供サービス）・使用場面・利用者像等によって様々異なるものです。

本事業への参加を以て、介護現場での活用方法の検討や機器の改良等を終えるのではなく、継続して介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業（厚生労働省委託事業）等を活用し、改善に努めて頂くようお願いいたします。

3事業の概要 (開発段階に応じた事業メニュー)



※開発（検討）中の機器がどの段階にあるか不明な場合は、当協会までご相談ください。

開発段階に応じた事業メニュー		開発段階	機器等	実施期間
A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業	コンセプト段階 開発中（試作段階）		1～2日間
B	試作介護機器へのアドバイス支援事業	開発中もしくは上市間 もない（1年以内）	必須	1週間～1ヶ月程度
C	介護ロボット等モニター調査事業	開発中もしくは上市間 もない（1年以内）	必須	1ヶ月～6ヶ月程度

(事業で使用する様式)

事業メニュー		依頼書 様式A	依頼概要書 様式B	要望書 様式C	計画概要書 様式D	事業報告書 様式E
A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業	○	○			
B	試作介護機器へのアドバイス支援事業	○	○			
C	介護ロボット等モニター調査事業			○	○	○
本書の掲載頁 →		P 1 5	P 1 6	P 1 8	P 1 9	P 2 2

※Cの事業には、応募期限があります。(P 1 0)

※各様式は、当協会ホームページからダウンロードできます。

なお、本事業によって得た利用者等の個人情報についての、目的外使用、また、第三者に開示若しくは漏洩してはならないものとする。

2. 事業内容

A. 「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」の募集

開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）の介護ロボット等について、介護施設等での自由な意見交換を行い、当該機器の課題や改良点及び、効果的な活用方法等についての話し合いを行います。

(1) 募集対象者

以下に掲げる企業を対象とします。

- 開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）にある介護ロボット等のメーカー
- 介護現場等での意見交換を通じて、開発機器のコンセプトの構築を図りたいメーカー
- 構想あるいは試作介護機器について、現場のアドバイスをもらいたいメーカー

(2) 募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとしませんが、高齢者の行動の自由を制限する可能性のある機器は対象としません。

◆目的要件（以下のいずれかの要件満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ▶ ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
（※）①力センサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- ▶ 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- ▶ 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」や「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）実施内容等

①募集件数（先着順）

10件程度（複数の介護施設で行うことも可能）

令和4年6月24日（金）以降、先着順とします。応募内容が本事業の趣旨に合致するものか、当協会にて審査のうえ採否を決定します。不明瞭な記載や内容に不備がある場合、また本事業の趣旨に反する案件等については、受付しない場合もあります。

②実施時期

令和4年7月～（※実施期間：1日～2日程度 協力施設等と要相談）

③費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・介護職員等との意見交換：アドバイス協力費として、5万円

④企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

注）既縁の介護施設等が有る場合であっても登録が必要になります。

⑤応募の書類と方法について

●提出書類

様式A 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書 …………… P15

様式B 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書 …… P16

任意様式 会社概要（A4で1枚程度）

●提出方法

電子メール（FAXによる提出は不可。）

●提出期限

先着順（受付可能な機器や時期、内容等については、当協会までお尋ねください。）

上記の様式は、当協会のホームページからダウンロードしてください。

当協会ホームページ：<http://www.techno-aids.or.jp/>

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式 1	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書	………	P 2 3
様式 2	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書	………	P 2 5
様式 3	介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業 請求書	………	P 2 6

新型コロナウイルス等感染症予防の対策について！

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。事業実施は、原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議で行う場合もあり得ます。

なお、オンライン会議での実施になった場合においても、原則、当協会が間に入ることと致しません。

(4) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2022」の作成について

事業終了時に成果報告を冊子として集約する予定です。原稿の作成にご協力をお願いいたします。

(参考) 福祉用具・介護ロボットの開発と普及2021

<http://www.techno-aids.or.jp/robot/file03/01kaihatu2021.pdf>

B. 「試作介護機器へのアドバイス支援事業」の募集

開発中にある介護ロボット等又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、福祉用具や高齢者に係わる専門職等が試用等を行い、専門的なアドバイスを行うことにより、適用対象者の想定を行うとともに、真に必要とされる機能や性能の検討を行い、もって使用場面のニーズを的確に捉えた機器開発を促します。

(1) 募集対象者

以下に掲げる企業を対象とします。

- 開発中又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等があり、改良点や効果的な活用方法を検討したいメーカー
- 機器の対象者や適用範囲等を明確にしたいメーカー

(2) 募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとしますが、高齢者の行動の自由を制限する可能性のある機器は対象としません。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」や「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）実施内容等

①募集件数（先着順）

15件程度（複数の介護施設で行うことも可能）

令和4年6月24日（金）以降、先着順とします。応募内容が本事業の趣旨に合致するものか、当協会にて審査のうえ採否を決定します。不明瞭な記載や内容に不備がある場合、また本事業の趣旨に反する案件等については、受付しない場合もあります。

②実施時期

令和4年7月～（※実施期間：1週間～1ヶ月程度 協力施設等と要相談）

③費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・試作介護機器へのアドバイス支援：アドバイス協力費として、8万円

④企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

注）既縁の介護施設等が有る場合であっても登録が必要になります。

⑤応募の書類と方法について

●提出書類

- | | | | | |
|------|---------------------|-------|----|------------|
| 様式A | 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 | 依頼書 | …… | P15 |
| 様式B | 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 | 依頼概要書 | …… | P16 |
| 任意様式 | 会社概要（A4で1枚程度） | | | |

●提出方法

電子メール（FAXによる提出は不可。）

●提出期限

先着順（受付可能な機器や時期、内容等については、当協会までお尋ねください。）

上記の様式は、当協会のホームページからダウンロードしてください。

当協会ホームページ：<http://www.techno-aids.or.jp/>

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式 1	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書	………	P 2 3
様式 2	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書	………	P 2 5
様式 3	介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業 請求書	………	P 2 6

※様式 1 及び 2、3 は、「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」と同様の様式です。

新型コロナウイルス等感染症予防の対策について！

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。事業実施は、原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議で行う場合もあり得ます。

なお、オンライン会議での実施になった場合においても、原則、当協会が間に入ることで致しません。

(4) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2022」の作成について

事業終了時に成果報告を冊子として集約する予定です。原稿の作成にご協力をお願いいたします。

(参考) 福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2021

<http://www.techno-aids.or.jp/robot/file03/01kaihatu2021.pdf>

C. 「介護ロボット等モニター調査事業」の募集

開発中又は上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、介護現場における使い勝手のチェックや介護ロボット等活用に係る具体的な課題やニーズの特定等を行い、もって企業が当該機器を開発又は改良する上で有用となる情報を収集するためのモニター調査を行うこととします。

モニター調査と合わせて、実証試験を行うことも可能です。

(1) 募集対象者

以下の2つの条件を満たす必要があります。

- ① 本モニター調査は、後述する(4)に示す枠組みに即したモニター調査を行う企業等が対象となります。
- ② 効果的なモニター調査を推進する観点から、専門職等による助言・指導及び協力施設等とのマッチングを希望する企業等が対象となります。

※工学的な安全性についての確認が必要な機器については、介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業における相談窓口やリビングラボをご活用ください。

(2) 募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとしますが、高齢者の行動の自由を制限する可能性のある機器は対象としません。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」や「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）実施内容

①実施期間

採択決定後～令和5年1月末

※モニター調査の期間は、内容や規模を考慮し協力施設等を相談して決定すること。

②採択件数

10件程度

③モニター調査の期間

1ヶ月～6ヶ月程度（協力施設等と要相談）

④費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

・モニター調査協力費として、15万円

⑤企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。但し、10件に到達した時点でマッチングは終了となります。

⑥モニター調査実施にあたっての留意

- ・モニター調査を希望する企業とモニター調査に協力していただける介護施設等とのマッチングを一つの目的としております。
- ・申請に当たって、実施するモニター調査の内容の一部を登録施設等へ情報提供するとともに、当協会のホームページから情報提供することに同意いただくことになります。
- ・適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成及び実施にあたって、当協会が設置するモニター調査検討委員会から指導・助言を行います。
- ・モニター調査は、利用者の同意を得て実施することとし、また、実証試験を行う際には、倫理審査の実施が必須となります。

(4) モニター調査の枠組み

本モニター調査は、下記にまとめた観点の①～⑤に基づいて実施していただきます。

応募に際して、機器開発の状況、今回のモニター調査で把握したい事項などについて、この枠組みに即して記載してください。

なお、利用者に対する効果・影響、介護者の負担軽減等について客観的データ取得に努めるものとして、③については、取得を必須とする指標を定めておりますので、下記ご確認のうえご留意ください。(①～⑤の全てを行う必要はありません)

モニター調査項目の基本的な考え方と指標の例

①利用対象者の適用範囲

開発の狙いと想定する身体機能レベルの整合性について、複数の被験者の評価結果等から整理する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標	要介護度、ベッド利用時の状態・時間・転落の危険性の有無、姿勢保持レベル、コミュニケーション能力、歩行・移動の自立度、排泄の自立度
調査結果の活用	利用者の適用範囲について条件を整理し、その条件でのモニター調査を経ても支障がなかったかを確認する。支障が生じた場合には、その原因と支障が及ぶ範囲を把握し、その結果をもとに適用範囲を修正する。

②利用環境の条件

機器利用環境の条件について、複数の被験者の評価結果等から整理する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標	利用時に必要となる空間（広さ）、設備、介助者の条件
調査結果の活用	利用環境について条件を整理し、その条件でのモニター調査を経ても支障がなかったかを確認する。支障が生じた場合には、その原因と支障が及ぶ範囲を把握し、その結果をもとに適用範囲を修正する。

③機器の利用効果

機器開発の狙いに即して、調査すべき項目・指標を設定する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標設定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究開発の蓄積から、独自に設定。 ・学識経験者、類似開発経験者等有識者の指導・協力を得て設定。 ・モニター調査協力施設との意見交換により設定。等
指標	<ul style="list-style-type: none"> i 被介護者（取得必須指標、以下のうち1つ以上） 要介護度、ADL、IADL（FIM 指標）、LSA（Life Space Assessment）、日常生活時間、QOL（sf-36、QOL26 等）

	ii 介護者（取得必須指標、以下のうち1つ以上） 腰痛等の有無、介護負担指標（Zarit 介護負担尺度、BIC-11 等）、ストレス指標、生体情報（筋電図、心電図、運動解析情報） iii 介護サービス提供全体の流れ プロセス全体の時間、人員構成、職務タイムスタディ法
調査結果の活用	提案するロボットを活用することにより、各指標がどの程度改善したか確認する。改善が見られない場合は、その原因を把握し、ロボットの改良につなげる。

④機器の導入・活用可能性

開発するロボットの操作可能性（介護職員等が取扱うことができる技術であるか）、想定される導入コスト、導入した場合の利用者満足度を調査する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認
指標	・ QUEST（満足度評価） ・ VAS（Visual Analogue Scale） ・ SUS（System Usability Scale）
調査結果の活用	開発するロボットが、介護現場にとって導入・活用が可能なものか確認し、導入・活用が困難な場合は搭載する技術の見直し等を行う。

⑤介護現場での利用継続性

上記①～④の調査を踏まえた上で、モニター調査に協力した施設等で継続して利用したいと思うか調査する。

調査手法	インタビュー法、質問紙法等
調査内容	利用継続性の有無について、その理由も聴取
調査結果の活用	理由に基づき、今後の改良・修正箇所の確認、新商品の開発につなげる。

（5）応募書類と方法

●提出資料

様式C 介護ロボット等モニター調査事業 要望書 …… **P18**

様式D 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書 …… **P19**

任意様式 会社概要（A4で1枚程度）

●提出方法

電子メール（FAXによる提出は不可。）

●提出期限 **令和4年7月22日（金）12時**

（6）募集期間

令和4年6月24日（金）～7月22日（金）

※）募集期間に予定の件数及び予算に満たない場合には追加募集します。詳しくは当協会にお尋ねください。

(7) 採否の決定等

当協会による書面審査及び当協会が設置するモニター調査検討委員会の意見を踏まえて、最終的に当協会が決定します。

採否については、決定しだい応募された方へ通知いたします。

但し、介護施設等とのマッチング件数は、10件程度となります。10件に到達した時点で受付は終了となります。従って、採択されてもモニター調査先を選定することができない場合もあり得ることを予めご了承ください。

本事業に採択された企業におかれましては、3月に開催するモニター調査検討委員会において成果報告のプレゼンテーションを行っていただきます。

(8) モニター調査の流れ

★7月22日(金) 12時厳守

(様式C) 介護ロボット等モニター調査事業 要望書及び、

(様式D) 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書の提出期限

→ 協会にて書面審査を行います。

本事業は、企業に対する費用の交付はございませんが、介護施設等に対してモニター調査協力を当協会から予算の範囲内で交付します。従って、事務処理の都合上、一定程度の募集期間を設けておりますが、期間内で既定の応募件数を満たない場合には、追加募集することといたしません。詳しくは、協会まで問い合わせてください。

→ 書面審査の結果を踏まえて、次のステップへ進みます。



★8月上旬～

① → **試用介護機器等の事前検証**の実施

書面審査の結果をクリアした案件については、原則として、当協会が設置する「モニター調査検討委員会」において、**試用介護機器等の事前検証**を行います。

事前検証は、当協会が指定した開催日に会場（東京都内を予定）までお越しいただき、当該機器の対象及び有用性、さらには想定するモニター調査の内容等について説明していただきます。

なお、事前検証に伴う旅費等の費用は応募者の負担となります。

また、新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、モニター調査検討委員会の開催をオンライン会議とする場合もあり得ます。この場合には事務局の指示に従ってください。

② → 委員会による審議を踏まえて、**採択企業を決定**

委員会審議の結果を送付します。

なお、委員会による審議の結果、モニター調査としては不採択であっても、当協会から「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」「試作介護機器へのアドバイス支援事業」の実施へ誘導する場合があります。

③ → 採択後の**モニター調査の計画作成に係わる助言・指導**

適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成にあたって、当協会の設置するモニター調査検討委員会等から、助言・指導を得ることができます。

④ → モニター調査を実施する**介護施設等とのマッチング**

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

10件の採択件数に到達した時点で受付終了となります。

次のステップへ進みます。



★8月下旬～令和5年1月末

→ 介護施設等において、**介護ロボット等モニター調査**の実施

調査開始にあたり、協力いただく介護施設等と相談のうえ「計画概要書（様式D）」を実際の調査内容に合わせて修正し、再提出いただくことも可能です。

→ モニター調査終了後、「事業報告書（様式E）」を提出していただきます。

必要に応じて協会職員が同行し、また適切なモニター調査が行われるよう、状況に応じて当該機器に適した専門家等を派遣します。

当協会では、製品の安全性やモニター調査にあたって生じた事故等の責任を負いません。必要に応じて保険をかけるなどし、十分注意して調査を行ってください。



★令和5年3月上旬

→ モニター調査検討委員会において、**成果報告のプレゼンテーション**の実施

モニター調査結果を踏まえて、プレゼンテーションをしていただきます。プレゼンテーション資料のご用意をお願いします。開催日はおってお知らせします。

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、モニター調査検討委員会の開催をオンライン会議とする場合もあり得ます。この場合には事務局の指示に従ってください。

※事業の実施後、介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業における相談窓口・リビングラボ等の取組を紹介し、介護現場での活用方法の検討や機器の改良等に向けて、更なる支援を希望する場合、当該事業の事務局への取次ぎを行います。

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式 4	介護ロボット等モニター調査 実施希望書	……	P 2 7
様式 5	介護ロボット等モニター調査 結果報告書	……	P 2 9
様式 6	モニター調査事業・協力施設 請求書	………	P 3 1

新型コロナウイルス等感染症予防の対策について!

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。事業実施は、原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議で実施の打合せを行う場合もあり得ます。

なお、オンライン会議での実施になった場合においても、原則、当協会が間に入ることであります。

(9) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2022」の作成について

事業終了時に成果報告を冊子として集約する予定です。原稿の作成にご協力をお願いいたします。

(参考) 福祉用具・介護ロボットの開発と普及2021

<http://www.techno-aids.or.jp/robot/file03/01kaihatu2021.pdf>

3. 本事業に関する問い合わせ先（事務局）

公益財団法人テクノエイド協会 企画部（谷田・松本・根石（ねいし））
〒162-0823
東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
TEL 03（3266）6883
電子メール monitor@techno-aids.or.jp

メモ

日付	問い合わせ内容	結果・対応

4. 様式（企業向けの様式）

様式 A（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）

〒

住所

事業者名

担当者所属

担当者名

電話番号

電子メールアドレス

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「**介護現場と開発企業の意見交換実施事業**」又は「**試作介護機器へのアドバイス支援事業**」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なご協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

様式B（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書）

令和 年 月 日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

1. 希望する事業の種類（いずれかに○印を記入してください。）

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	<input type="checkbox"/>
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	<input type="checkbox"/>

2. 依頼者（企業）の概要

企業名		
担当者名		
担当者連絡先	住所	〒
	電話	
	電子メールアドレス	
主たる業種		
主要な製品		
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他		

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作介護機器等の概要（可能な限り詳しく記入してください。）

機器の名称（仮称）		
試作介護機器の有無及び機器のコンセプト（試作介護機器あれば写真を添付）	試作介護機器の有無	1. 有 ・ 2. 無
	機器の目的及び特徴	

<p>想定する使用者及び使用方法、使用場面</p>	<p>①想定する使用者</p> <p>②想定する使用場面</p> <p>③想定する使用方法</p>
<p>現在の開発状況と主な課題</p>	
<p>特にアドバイス（意見交換）を希望している事項</p>	
<p>その他</p>	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式C (介護ロボット等モニター調査事業 要望書)

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(要望者)

〒

住所

事業者名

担当者所属

担当者名

電話番号

電子メールアドレス

介護ロボット等モニター調査事業 要望書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う「介護ロボット等モニター調査事業」について、下記の書類を添付して要望します。

記

1. 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書
2. 会社概要 (任意様式)
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類 (任意様式)
※) 実績がない場合は、提出不要

(本書類の取扱いと留意事項について)

- ご提出いただく「介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご注意ください。

介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書

1. 申請者（企業）の概要等

企業名		
担当者名		
担当者連絡先	住所	〒
	電話	
	電子メールアドレス	
主たる業種		
主要な製品		
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他の希望		

2. 試用介護機器の概要（可能な限り詳しくご記入ください。）

機器の名称（仮称）	
機器の概要 (写真を添付すること)	想定する使用者、使用場面
	機能と使用方法、有用性
	類似する機器との相違
	当該機器と介護業務との関連性

現在の開発状況と課題	<u>機器に関するリスクアセスメント</u> （性能安全と利用安全の確保対策） ※アセスメント結果を添付して下さい。
	<u>社内や社外モニター調査の実績</u> ※実績ありの場合は、その結果を添付して下さい。
	<u>開発に関する当面の課題</u>

3. モニター調査の概要

1. 調査のねらい	
2. 調査概要	1) 調査対象： 2) 調査したい場面、場所： 3) 調査期間（日数）： 4) 機器の台数：

4. モニター調査の実施手法（協力施設等へお願いしたい内容）

※本書のP 9～10を参考にモニター調査の具体的な実施方法を記載してください。

注）5つの項目全てを行う必要はありません。（実施しない項目は「特になし」としてください。）

※モニター調査検討委員会等の審議により採択された場合には、当協会及び専門家によるアドバイスをを行います。

1. 利用対象者の適用範囲に関すること	【調査手法】 <input type="checkbox"/> 観察法 <input type="checkbox"/> インタビュー法 <input type="checkbox"/> 質問紙法 <input type="checkbox"/> その他： 【想定する調査方法】
---------------------	---

2. 利用環境の条件 に関すること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
3. 機器の利用効果 に関すること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【取得指標】 i 被介護者 <input type="checkbox"/>要介護度 <input type="checkbox"/>ADL <input type="checkbox"/>IADL <input type="checkbox"/>LSA <input type="checkbox"/>日常生活時間 <input type="checkbox"/>QOL <input type="checkbox"/>その他（ ） ii 介護者 <input type="checkbox"/>腰痛等の有無 <input type="checkbox"/>介護負担指標 <input type="checkbox"/>ストレス指標 <input type="checkbox"/>生体情報 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>【想定する調査方法】</p>
4. 機器の使い勝手 に関すること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
5. 介護現場での利 用の継続性に関す ること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
6. その他	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式E（介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書）

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会理事長 殿

事業者名
 担当者所属
 担当者名
 電話番号
 電子メールアドレス

介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書

標記について、下記のとおり報告します。

案件番号		
機器の名称（仮称）		
モニター調査の実施体制		
実施経過	実施時期	主な実施内容
	年 月	
	年 月	
	年 月	
実施結果 （計画概要書に沿って記入してください）		
市場投入に向けて有用となった事項		
モニター調査後の協力施設との関係		
本事業に対する要望等		

（注）必要に応じて記載欄を増やしてください。

5. 参考資料（介護施設等向けの様式）

様式1（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書）

令和 年 月 日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書

1. 事業の種類 ※いずれか一つに○印をつけてください。

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	<input type="checkbox"/>
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	<input type="checkbox"/>

※上記「2」を選択した場合には、案件に応じて、Ns、PT、OT、ST等がアドバイスを行うメンバーに入る必要があります。在籍していない場合には、当協会にご相談ください。

2. 希望する案件・機器の名称

案件番号	
企業名	
機器の名称（仮称）	

3. 実施体制

実施機関名			
実施責任者名			
主担当者名			
主担当者連絡先	住所	〒	
	電話		
	電子メールアドレス		
主担当者の職種と日常業務			
アドバイス（意見交換）に係わる者 （ <u>アドバイス等に係わる全ての方を記載してください。</u> ）	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年
福祉用具の開発に関与した実績等（あれば記載してください）			

その他	
-----	--

4. 実施機関の概況

介護業務における 現状の課題	
当案件を希望する 理由	

5. アドバイス支援等の具体的な実施方法

実施方法	
------	--

(注) 本事業では、介護職員等の専門職が試用する事業であり、実際の高齢者が試用するものではありません。

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式2（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書）

令和 年 月 日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書

1. 実施体制

実施機関名			
実施責任者			
主担当者名			
連絡先	電話		メールアドレス
主担当者の職種と 日常業務			
アドバイス（意見交換）に係わった担当者 （ <u>アドバイス等に係わった全ての方を記載してください。</u> ）	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年

2. 実施結果

案件番号		機器の名称	
企業名			
アドバイス（意見交換） の実施経過	実施日	実施方法等	
使用者の適応範囲に関する留意点、課題			
使用時の利用環境に関する留意点、課題			
期待する効果を発揮するための課題及びその対応策			
使い勝手に関する課題及びその対応策			
特にアドバイス（意見交換）してほしい事柄に対する結果			
その他			

（注）必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式3（請求書：介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業）

請 求 書

金 _____ 円

令和4年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行った「介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金融機関名	銀行	支店
預貯金種別		
口座番号		
(フリガナ) 口座名		

2. 事業の種類 ※いずれか一つに○印をつけてください。

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	

3. 実施機関及び案件

実施機関名	
担当者名	
案件番号	
機器の名称	
企業名	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)
住所 〒

事業者名

代表者

印

様式4（介護ロボット等モニター調査 実施希望書）

令和 年 月 日

介護ロボット等モニター調査 実施希望書

1. 希望するモニター調査事業

案件番号		機器の名称	
企業名			

2. 実施体制

実施機関名			
実施責任者氏名			
主担当者名			
主担当者連絡先	住所	〒	
	電話		
	電子メールアドレス		
主担当者の職種と日常業務			
モニター調査に係わる者 (モニター調査に係わる全ての方を記載してください。)	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年
モニター調査実施可能な期間			
福祉用具の開発に関与した実績等（あれば記載してください）			
今回、モニター調査を希望する施設としてのねらい			

3. メーカーがモニター調査したい内容に対する対応予定

項目	対応予定

4. 当該機器に対して、介護施設等の側からモニターしたい内容等

項目	モニターしたい内容

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式5（介護ロボット等モニター調査 結果報告書）

令和 年 月 日

介護ロボット等モニター調査 結果報告書

1. 実施体制

実施機関名			
主担当者名			
連絡先	電話		メールアドレス
主担当者の資格と 日常業務			
モニター調査に係 わった担当者 （モニター調査に 係わった全ての方 を記載してくださ い。）	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年

2. 実施状況

案件番号		機器の名称	
企業名			
実施期間	月 日 ~ 月 日		
調査対象とした介護サ ービスの種類・内容			
機器を利用した介護サ ービス場面			
機器を利用した対象者 の状態像、人数			
モニター調査結果の収 集と記録の方法			
応募時と異なったこと 想定していなかったこ と等			
その他			

3. モニター調査結果

利用対象者の適用範囲 （特に留意すべき点など）	
利用環境の条件 （特に留意すべき点など）	
機器の利用効果 （機器の特性に即して あてはまる項目について 記入すること。）	<u>介護を受ける側への効果</u> （本人のADLやQOLの維持・向上、精神的負担の軽減等）
	<u>介護する側への効果</u>
	<u>介護業務の過程における効果</u> （安全な介護の実施や効率的な介護の実現等）
	<u>その他</u>
使い勝手や操作機能性	
改良の希望とその理由	
その他	

（注）必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式6（請求書：介護ロボット等モニター調査）

請 求 書

金 150,000円

令和4年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行った「介護ロボット等モニター調査」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金融機関名	銀行	支店
預貯金種別		
口座番号		
(フリガナ) 口座名		

2. 実施機関及び案件

実施機関名	
担当者名	
案件番号	
機器の名称	
企業名	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)
住所 〒

事業者名

代表者

印

公益財団法人テクノエイド協会の概要

○目的

当協会は、福祉用具に関する調査研究及び開発の推進、福祉用具情報の収集及び提供、福祉用具の臨床的評価、福祉用具関係技能者の養成並びに義肢装具士に係る試験事務等を行うことにより、福祉用具の安全かつ効果的な利用を促進し、高齢者及び障害者の福祉の増進に寄与することを目的としています。

○設立

- ・ 1987年（昭和62年）3月16日
財団法人設立許可（厚生省社第220号）
- ・ 1987年（昭和62年）4月1日
法人設立登記
- ・ 2011年（平成23年）7月1日
公益財団法人へ移行登記

○主な事業

- ・ 福祉用具・介護ロボットの開発普及に係る事業
- ・ 福祉用具の臨床評価に関する事業
- ・ 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業
- ・ 福祉用具に関する調査研究事業
- ・ 福祉用具の規格化・標準化に関する事業
- ・ 福祉用具関係技能者の養成
- ・ 義肢装具士の国家試験
- ・ その他、福祉用具に係る事業



○所在地

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
公益財団法人テクノエイド協会 企画部 谷田・松本・根石（ねいし）
TEL 03-3266-6883

福祉用具・介護ロボットの開発と普及に関する取り組み

これまでの福祉用具・介護ロボットに関する取り組み及び情報、研究報告等は、当協会のホームページに掲載しています。

本事業で必要な様式も以下からダウンロード可能となっています。

<http://www.techno-aids.or.jp/>

